

行田市と他都市の比較分析

1. 周辺都市との比較

1-1. 周辺都市の抽出

1-2. 比較指標

(1) 人口

- ① 人口と人口伸び率
- ② 年齢別人口構成比

(2) 産業比較指標

- ① 産業別就業人口
- ② 工業事業所数・工場従業者数・製造品出荷額
- ③ 商業事業所数・年間販売額

2. 類似都市との比較（第5次行田市総合振興計画策定時資料）

2-1. 類似対象都市の抽出と特徴

- (1) 類似対象都市の抽出
- (2) 類似都市の特徴

2-2. 比較指標

(1) 人口と世帯

- ① 人口と人口伸び率
- ② 年齢別人口構成比
- ③ 人口動態
- ④ 昼間人口と昼夜間人口比率

(2) 産業・都市基盤・利便性比較指標

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| ① 産業別就業人口 | ⑪ 住宅種類別世帯数(一戸建て・共同住宅)、持家世帯比率等 |
| ② 事業所数・事業所従業員数 | ⑫ 下水道普及率 |
| ③ 市役所職員数 | ⑬ 乗用車保有台数と世帯当たり保有率 |
| ④ 市財政支出額・財政力指数 | ⑭ 医療施設数、病院診療所病床数、医師数 |
| ⑤ 工場・工場従業者数・製造品出荷額 | ⑮ 介護老人福祉・保健施設 |
| ⑥ 小売商店数・従業者数・年間販売額 | ⑯ ごみ総排出量 |
| ⑦ 小売吸引力と小売吸引人口 | ⑰ 都市公園面積 |
| ⑧ 大型店売場面積と大型店シェア | ⑱ 用途別平均地価、前年比上昇率 |
| ⑨ 課税対象所得額と所得水準 | ⑲ 都市計画道路計画延長と整備率 |
| ⑩ 新築住宅着工戸数、利用関係別構成比、着工床面積 | ⑳ 区画整理事業地区数・整備面積と整備率 |

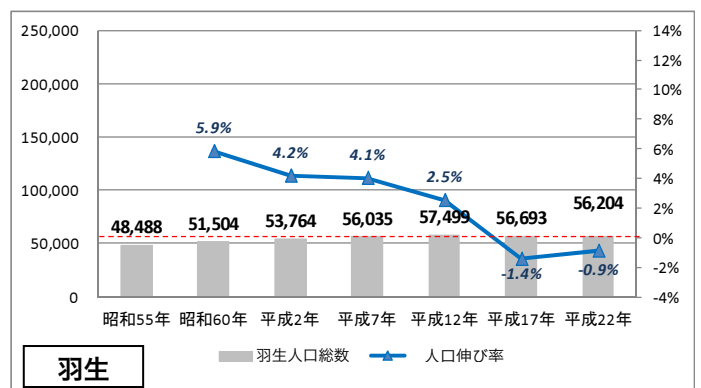
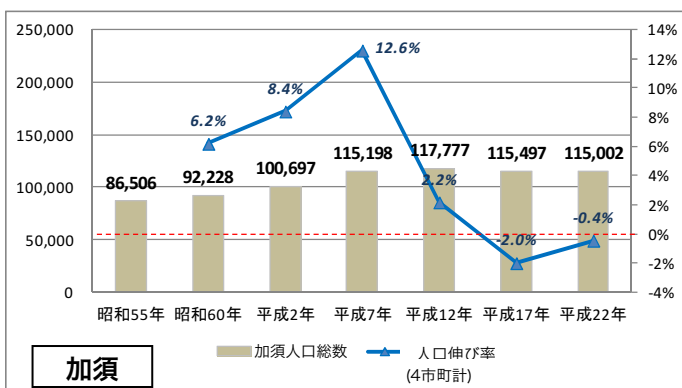
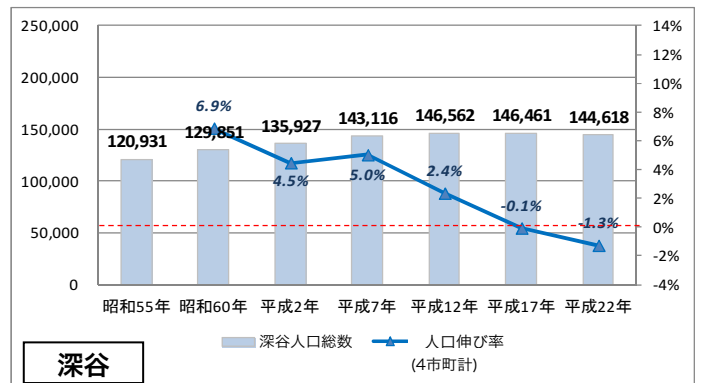
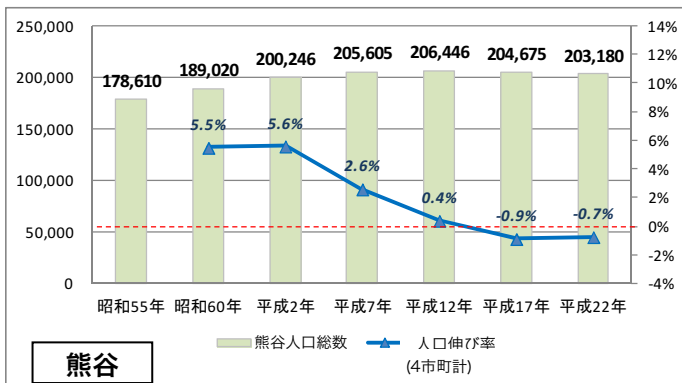
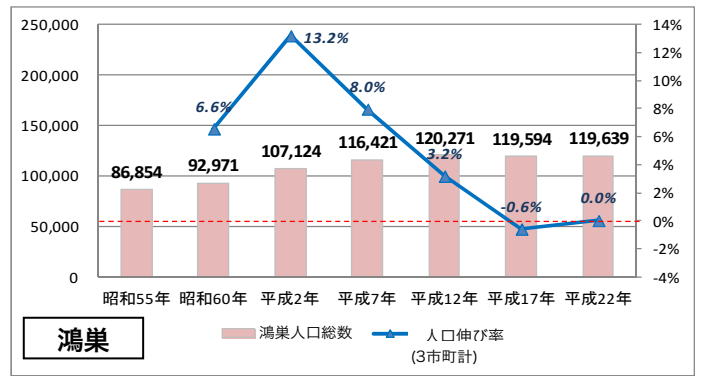
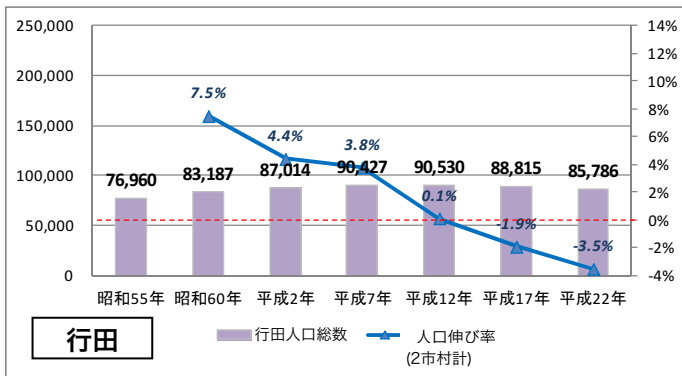
2-3. 類似都市指標のまとめ

1-2. 比較指標

(1) 人口と世帯

① 人口と人口伸び率

- 人口伸び率について昭和55年からの推移をみると、各市とも平成12年調査までは人口増加が続いているが、平成に入り増加率は緩やかになり、平成17年調査ではいずれも減少に転じている。なお、行田・深谷市を除いて平成17年度調査以降は減少率に下げ止まりの傾向がみられる。

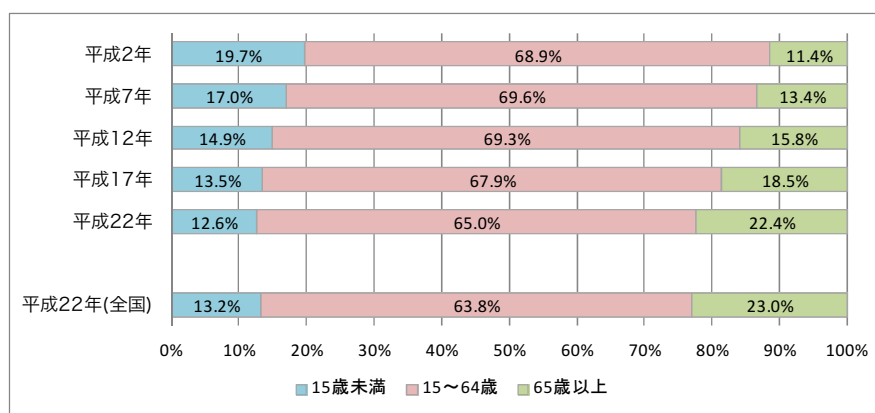


平成22年国勢調査 人口等基本集計結果による各市人口

資料：県総務部統計課

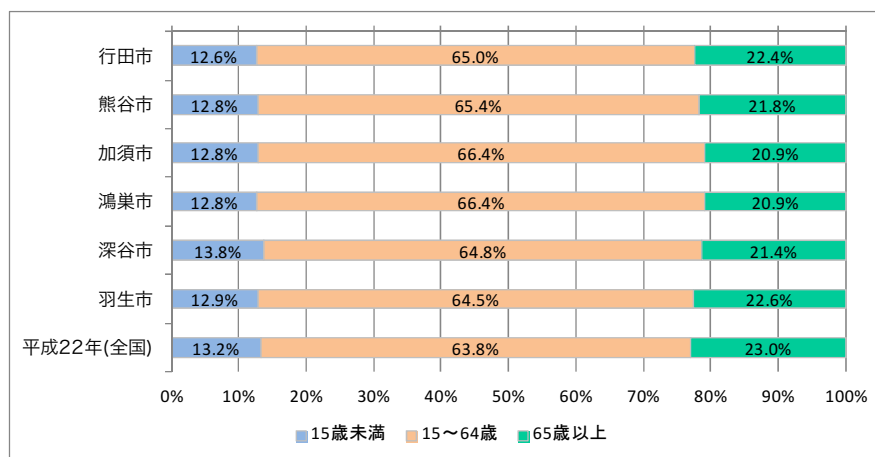
② 年齢別人口構成比

- ・ 行田市では、65歳以上の人口比率の増加により、高齢化が進行しており、平成22年時点では全国平均に比べると0.6%低い状況になっている。
- ・ また、平成22年度における周辺5市と比較すると、本市と羽生市で65歳以上の比率が高くなっている。



年齢3区分別割合の推移 (行田市)

資料：国勢調査



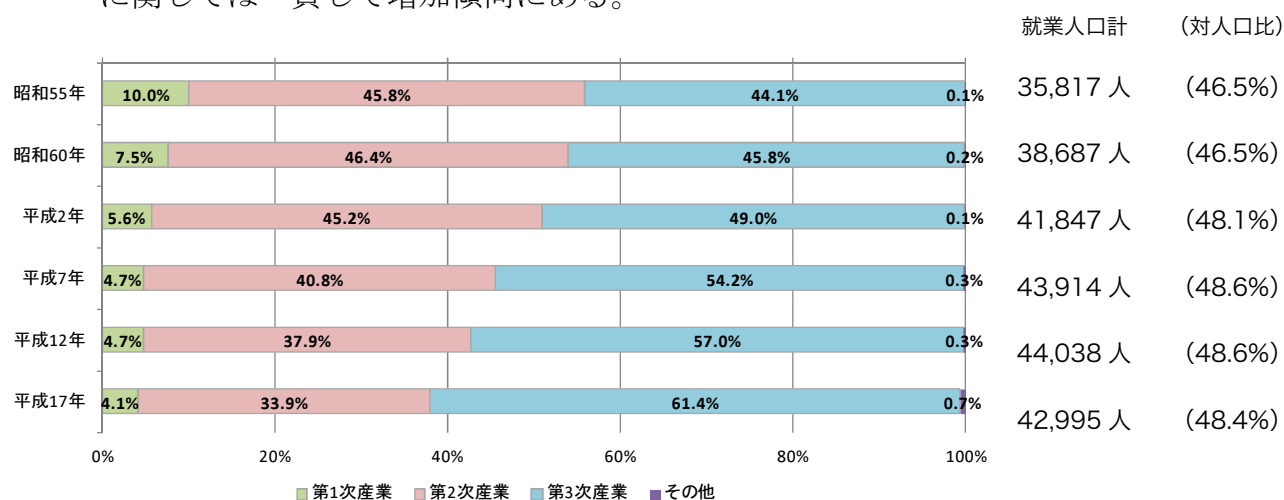
年齢3区分別割合 (行田市及び周辺5市)

資料：国勢調査

(2) 産業比較指標

① 産業別就業人口

- 行田市では、第1次産業及び第2次産業の15歳以上人口構成比は減少傾向にあり、特に第1次産業に関しては4.1%まで落ち込んでいる。第3次産業に関しては一貫して増加傾向にある。



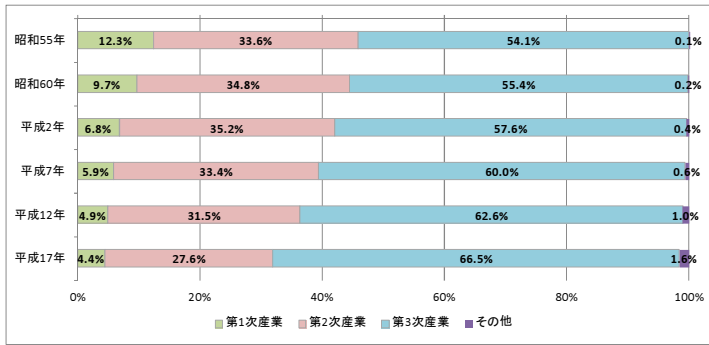
産業別15歳以上就業者数の推移

資料：国勢調査

- 各市とも第1次産業の割合は低下しており、行田・熊谷・鴻巣市は5%を割り込んでおり、特に加須市の減少幅が大きくなっている。深谷市については昭和55年から半減しているものの10%を維持している。
- 第2次産業に関しては熊谷・鴻巣市で割合の低さが目立つものの、加須・深谷市は比較的安定した推移となっている。
- 第3次産業は熊谷・鴻巣市で大きな割合を占めている。

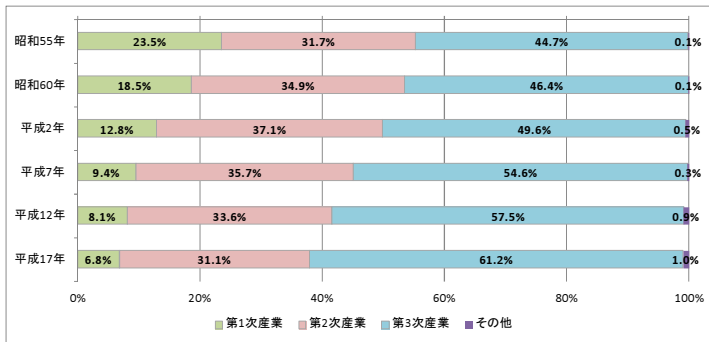
産業別 15 歳以上就業者数の推移(周辺 5 市)

熊谷



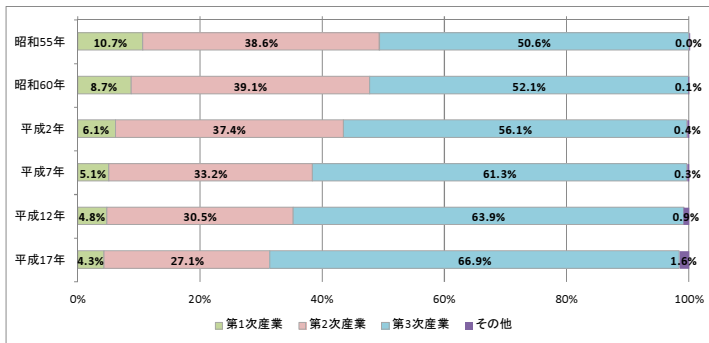
就業人口計 (対人口比)
 84,951 人 (47.6%)
 91,178 人 (48.2%)
 98,364 人 (49.1%)
 102,148 人 (49.7%)
 103,981 人 (50.4%)
 101,351 人 (49.5%)

加須



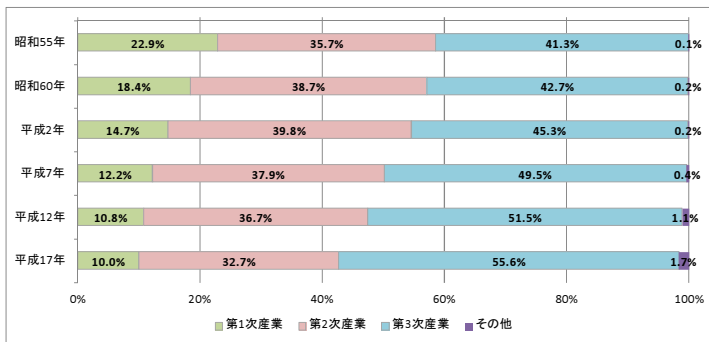
就業人口計 (対人口比)
 43,606 人 (50.4%)
 45,861 人 (49.7%)
 51,018 人 (50.7%)
 58,355 人 (50.7%)
 60,096 人 (51.0%)
 59,567 人 (51.6%)

鴻巣



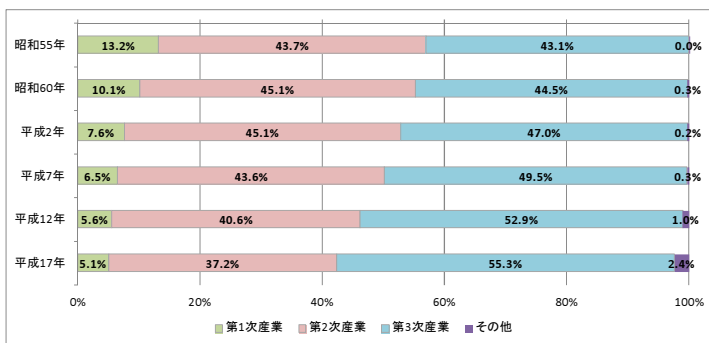
就業人口計 (対人口比)
 40,061 人 (46.1%)
 43,708 人 (47.0%)
 52,813 人 (49.3%)
 58,893 人 (50.6%)
 59,959 人 (49.9%)
 59,344 人 (49.6%)

深谷



就業人口計 (対人口比)
 59,928 人 (49.6%)
 64,704 人 (49.8%)
 69,935 人 (51.5%)
 75,062 人 (52.4%)
 76,146 人 (52.0%)
 74,065 人 (50.6%)

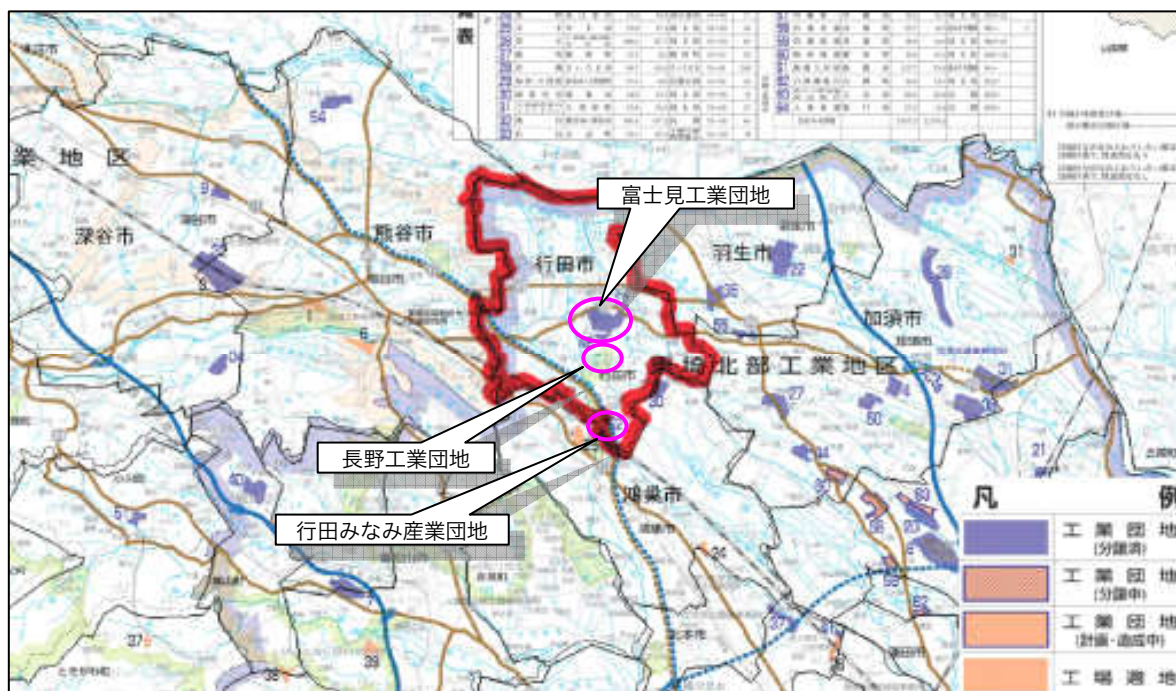
羽生



就業人口計 (対人口比)
 24,179 人 (49.9%)
 25,590 人 (49.7%)
 27,118 人 (50.4%)
 28,722 人 (51.3%)
 29,008 人 (50.4%)
 28,549 人 (50.4%)

② 工業事業所数・工場従業者数・製造品出荷額

- ・ 行田市では、富士見、長野地区の工業団地、及び行田みなみ産業団地を中心として立地している。産業別製造品出荷額でみると、業務用機械、食料品、電気機械の順に多くなっている。
- ・ 工場事業所数、従業者数、製造品出荷額は減少傾向にある（なお、表中で平成19年調査より、「製造品出荷額等」の調査項目が変更されている。）。
- ・ 周辺5市との比較では、事業所数については熊谷市を除いて各市減少しているが、特に行田・深谷市で平成3年～21年の間に半数近く減少している。



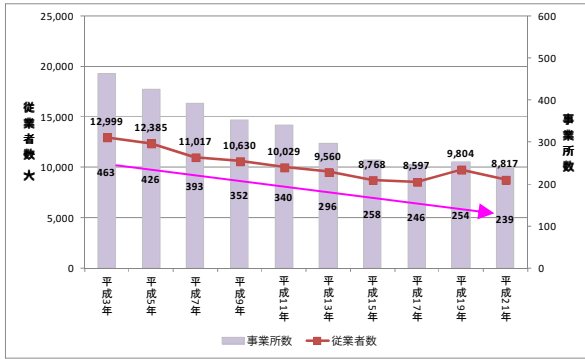
行田市内と周辺市の工業団地

資料：埼玉県工場適地図 県産業労働部企業立地課 平成22年

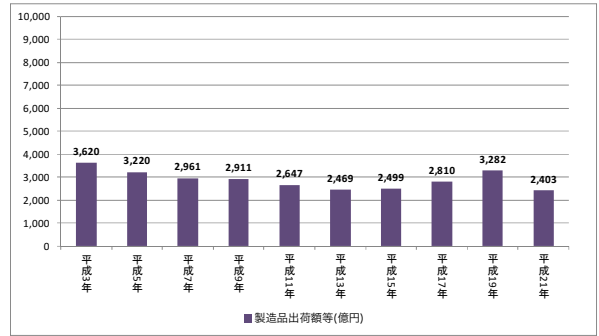
事業所数・従業者数、製造品出荷額等の推移

行田

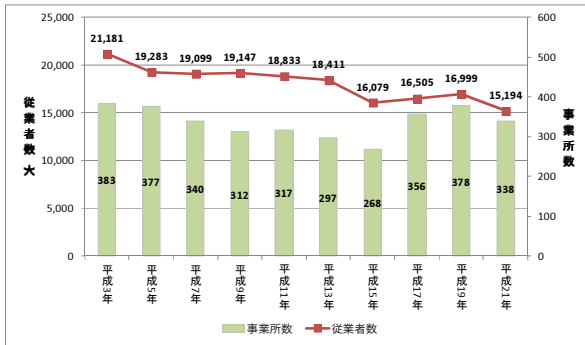
事業所数・従業者数



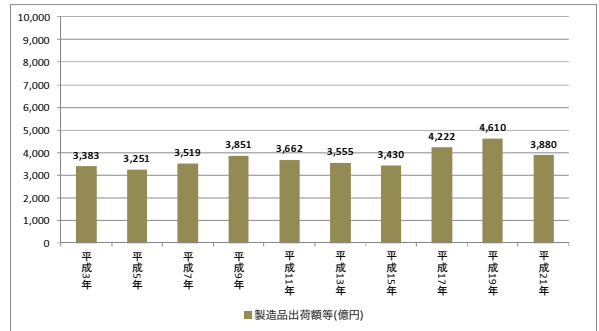
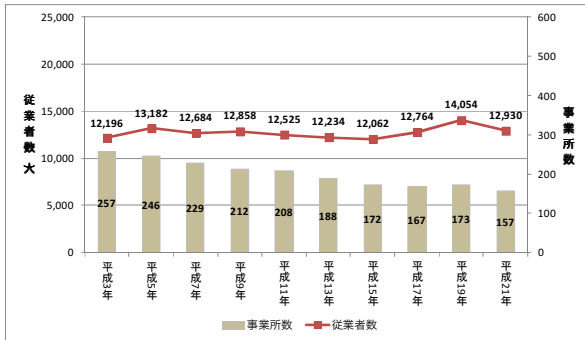
製造品出荷額等



熊谷



加須

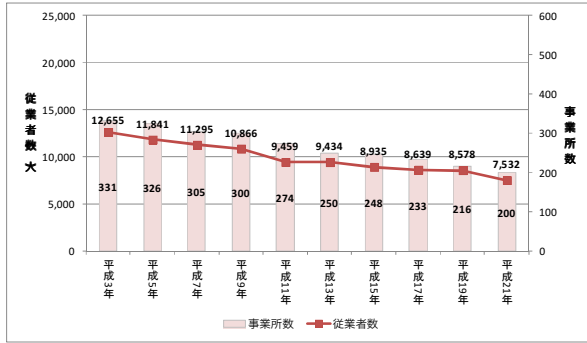


資料：各年工業統計調査

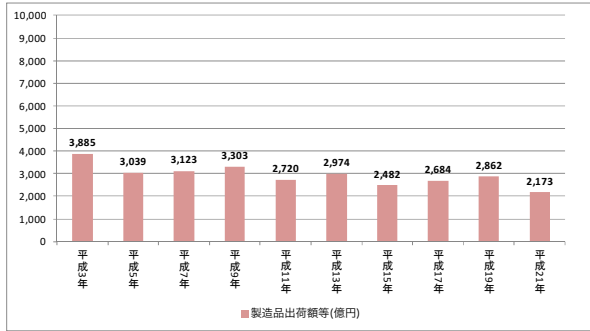
事業所数・従業者数、製造品出荷額等の推移

鴻巣

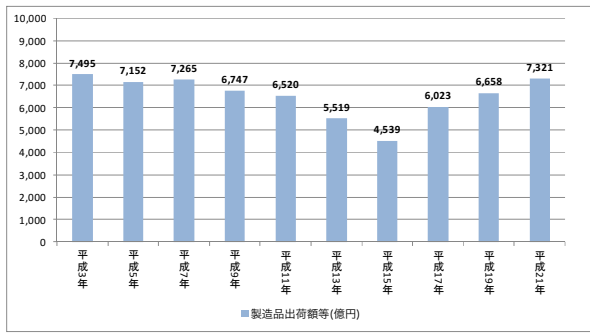
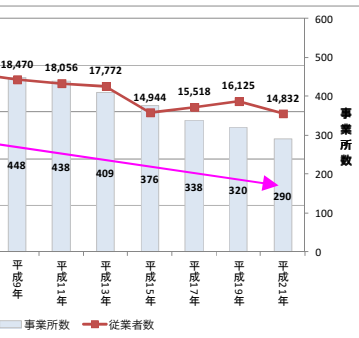
事業所数・従業者数



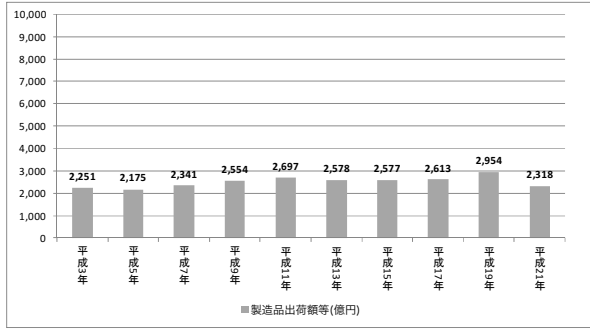
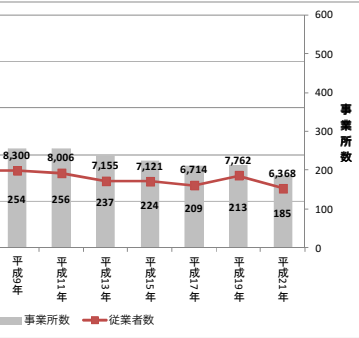
製造品出荷額等



深谷



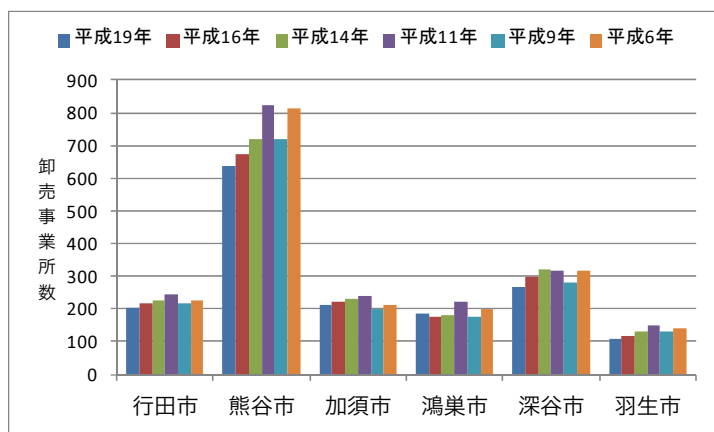
羽生



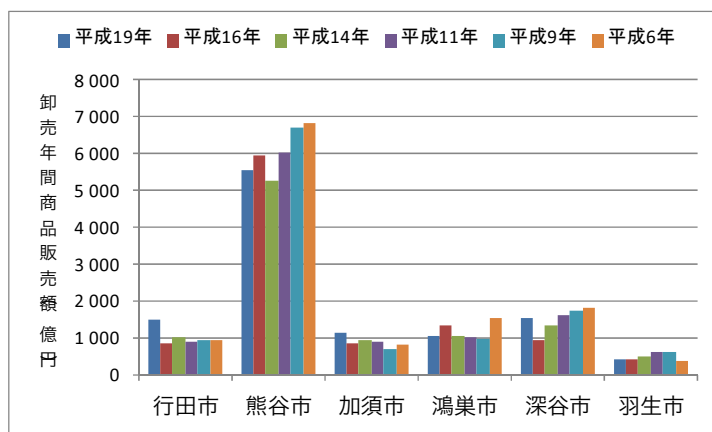
資料：各年工業統計調査

③ 商業事業所数・年間販売額

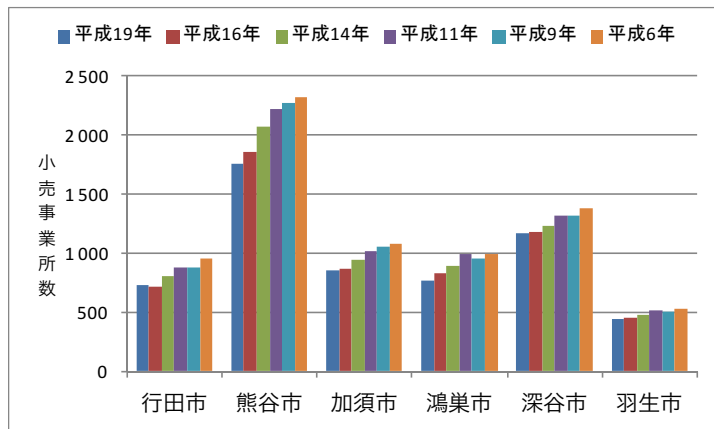
- ・ 行田市では、事業所（商店）数は卸売・小売業ともに各市で減少傾向にある。年間販売額は大きく変動しているが、小売業の年間販売額については近年は横ばい～微増傾向となっている。



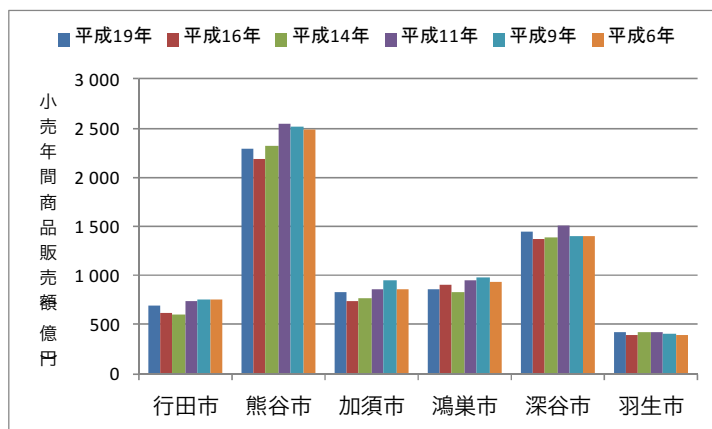
卸売事業所数



卸売年間商品販売額



小売事業所数



小売年間商品販売額

【参考】行田市内の大規模小売店舗

行田市(18店舗)

店舗の名称 (大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積 (㎡)	開店年月
1 カインズモール行田(カインズ棟)	持田1031-1外	12,470	H18.10
2 パシオス(ショッピングプラザ行田店)	行田46-1	7,455	H01.12
3 カインズモール行田(ベイシア棟)	持田1072-1外	5,335	H18.10
4 島忠家具ホームセンター行田店	持田1-11-1	5,000	S50.11
5 ケーヨーデイツー行田店	小見字辻前通り1303	3,300	H07.03
6 セキチュー行田店(桜ヶ丘アラガンビル)	長野1882	2,929	H02.07
7 ベルク(東行田ショッピング広場)	長野1-2-3外	2,382	S63.11
8 (仮称)ベルク行田城西店	城西4-4	2,147	H22.09
9 マミーマート谷郷店	谷郷2-1068-1外1	2,095	H11.10
10 ヤオコー行田店(金子第一ビル)	門井町2-3-1外	2,058	S53.12
11 ヤオコー行田藤原店A棟	藤原町2-1-6外	2,028	H15.10
12 ベルク行田南店	緑町792-1外	2,020	H15.02
13 マミーマート(太井ショッピングプラザ)	門井町1-35-5	1,997	H07.05
14 エコス行田店	忍2-165-1外	1,738	H11.11
15 カインズモール行田(ベイシア電器棟)	持田730-1外	1,500	H18.10
16 サンドラッグ行田店	旭町230-1	1,312	H07.07
17 与野フードセンター(仁徳ビル)	佐間1-3-12	1,103	S61.09
18 ヤオコー行田藤原店B棟	藤原町2-2-1外	1,049	H15.10

資料:

) 埼玉県

【参考】周辺他市の大規模小売店舗(5,000㎡以上)

熊谷市(43店舗)

店舗の名称 (大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積 (㎡)	開店年月
1 八木橋百貨店	仲町54-1	22,892	M30.04
2 イオン熊谷店(片倉フィラチャー)	本石2-135外	21,608	H12.11
3 ショッピングセンターニットモール	銀座2-245	19,554	S54.10
4 妻沼東宝リバーサイドモール	弥藤吾字稲荷木1134-2外	12,580	H08.11
5 ショッピングモールビックベア(熊谷平松ビル)	代字天神1067	12,421	H09.10
6 ティアラ21	筑波3-202	8,130	H16.11
7 ヤマダ電機テックランド熊谷本店(熊谷原島ショッピングセンター)	原島1187-1	7,298	H05.11
8 熊谷クレッセ	小島字下川原770外	6,904	H13.10
9 アズ熊谷(熊谷ステーションビル)	筑波2-115	6,322	S62.04

加須市(9店舗)

店舗の名称 (大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積 (㎡)	開店年月
1 ビバモール加須	下高柳1-29	34,623	H18.10
2 カインズモール大利根	琴寄70	16,560	H21.09
3 イトヨーカ堂加須店(加須カタクラパーク)	大門町20-58	7,378	H03.01
4 かぞメイン(加須駅前店舗ビル)	中央1-1-15	6,180	S60.11

鴻巣市(17店舗)

店舗の名称 (大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積 (㎡)	開店年月
1 ユニー(アピタ吹上店)	袋90-1	17,297	H10.12
2 エビこのす(鴻巣駅東口A地区第一種市街地再開発A1街区ビル)	本町1-1-2	14,880	H19.10
3 スーパービバホーム鴻巣店	箕田1771外	14,406	H15.06
4 MEGAドン・キホーテ北鴻巣店	箕田3111-1	8,567	S60.11
5 コーブ吹上店	新宿2-193外	6,842	H12.04
6 UNICUS鴻巣	北新宿207	6,390	H22.09
7 ニトリ鴻巣店	八幡田474	5,165	H15.11

深谷市(21店舗)

店舗の名称 (大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積 (㎡)	開店年月
1 イトーヨーカ堂深谷店(深谷上柴ショッピングセンター)	上柴町西4-2-14	22,774	S57.10
2 カインズモール深谷川本	長在家1768外	9,998	H18.12
3 ハーズ(花園ショッピングセンター)	荒川850	5,690	S62.09

羽生市(5店舗)

店舗の名称 (大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積 (㎡)	開店年月
1 イオンモール羽生	川崎2-281-3	57,000	H19.11

【参考】埼玉県大規模小売店舗出店状況

	市町村名	推計人口 (H23.4.1)	大規模小売店舗		人口1,000人 あたり大規模 小売店舗面積 (㎡)
			店舗数	面積[㎡]	
1	さいたま市	1,226,324	171	967,489	789
2	川越市	343,759	46	212,047	617
3	熊谷市	202,281	43	190,077	940
4	川口市	500,761	76	355,007	709
5	行田市	85,301	18	57,918	679
6	秩父市	66,431	15	51,153	770
7	所沢市	341,501	44	182,729	535
8	飯能市	83,268	10	63,263	760
9	加須市	114,935	9	77,585	675
10	本庄市	81,542	13	70,506	865
11	東松山市	90,225	19	110,125	1,221
12	春日部市	237,243	33	138,635	584
13	狭山市	155,367	16	91,376	588
14	羽生市	56,092	5	67,736	1,208
15	鴻巣市	119,511	17	89,924	752
16	深谷市	144,162	21	76,348	530
	埼玉県	7,198,706	1,034	5,128,935	712

資料：埼玉県大規模小売店舗名簿（平成23年4月1日）埼玉県

2. 類似都市との比較（第5次行田市総合振興計画策定時資料）

2-1. 類似対象都市の抽出と特徴

(1) 類似対象都市の抽出

・行田市の県内類似対照都市として、人口規模、産業構造から、次の15都市とした。

	人口規模	産業構造
都市Ⅱ-2	50,000人～100,000人	Ⅱ次+Ⅲ次 95%以上、Ⅲ次 65%未満
都市Ⅱ-3	未満	Ⅱ次+Ⅲ次 95%以上、Ⅲ次 65%以上

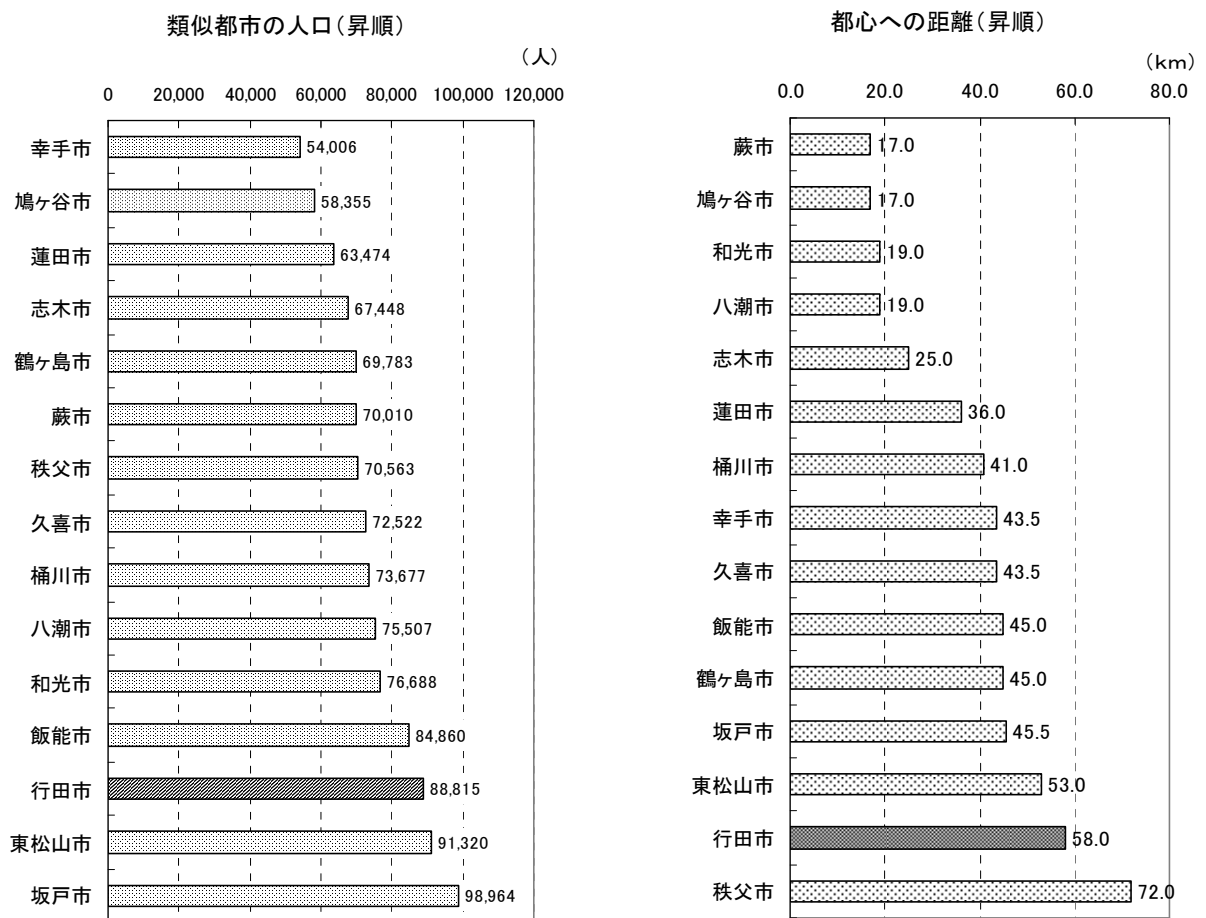
No	類似都市	類似団体分類	平成20年人口	類似団体分類	
				都市Ⅱ-2	都市Ⅱ-3
1	行田市	Ⅱ-2	87,421	1	
2	秩父市	Ⅱ-2	70,081	2	
3	飯能市	Ⅱ-3	82,767		1
4	東松山市	Ⅱ-2	88,179	3	
5	蕨市	Ⅱ-3	68,194		2
6	鳩ヶ谷市	Ⅱ-3	59,595		3
7	志木市	Ⅱ-3	68,221		4
8	和光市	Ⅱ-3	74,358		5
9	桶川市	Ⅱ-3	75,098		6
10	久喜市	Ⅱ-3	71,352		7
11	八潮市	Ⅱ-2	77,810	4	
12	蓮田市	Ⅱ-3	63,680		8
13	坂戸市	Ⅱ-3	98,339		9
14	幸手市	Ⅱ-3	53,735		10
15	鶴ヶ島市	Ⅱ-3	69,085		11
	合計			4	11

・参考として、埼玉県隣接県(都)の類似都市を、人口規模、都心への距離、産業別人口構成比等の比較から、次の4都市を抽出する。

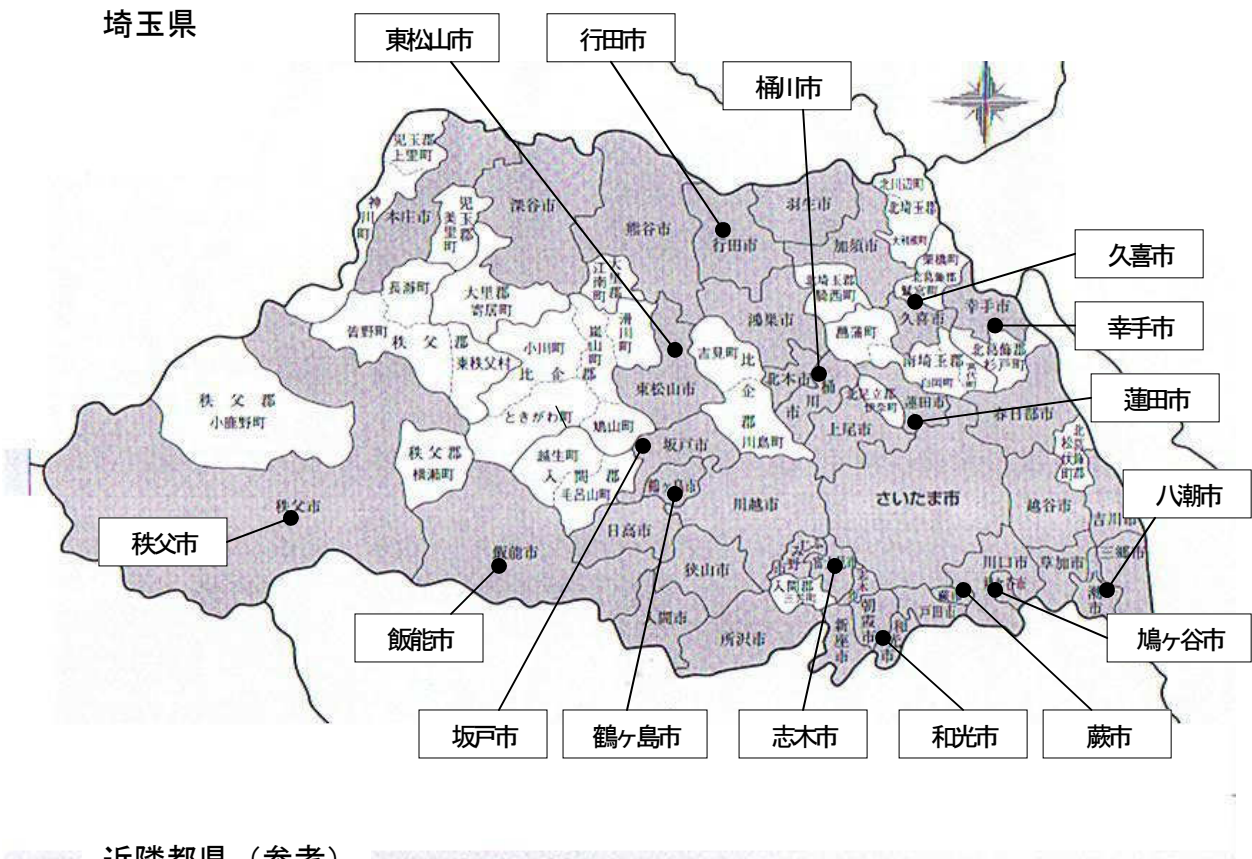
	平成20年人口	都心への距離	平成17年 産業別人口構成比		
			第1次産業	第2次産業	第3次産業
	人	km	%	%	%
千葉県 茂原市	94,230	54.0	4.2	29.5	65.4
東京都 あきる野	80,843	44.5	2.0	28.0	67.2
神奈川県 綾瀬市	80,615	43.0	1.2	34.3	61.8
茨城県 龍ヶ崎市	79,199	45.0	2.9	26.6	67.6

(2) 類似都市の特徴

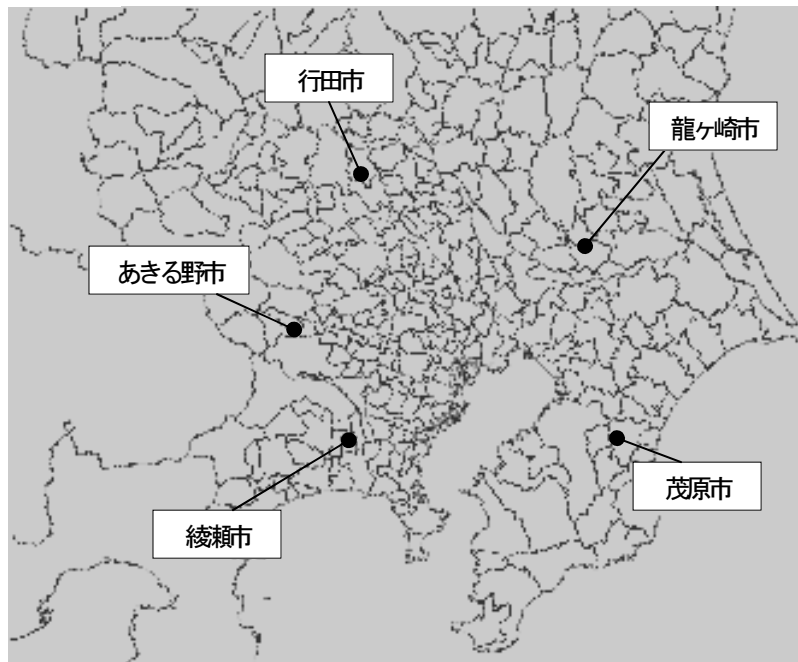
- ・ 行田市は 15 都市中、人口規模で 3 番目に大きく、都心との距離は 2 番目に長い都市である。



■ 類似都市の位置図



近隣都県（参考）



2-2. 比較指標

(1) 人口と世帯

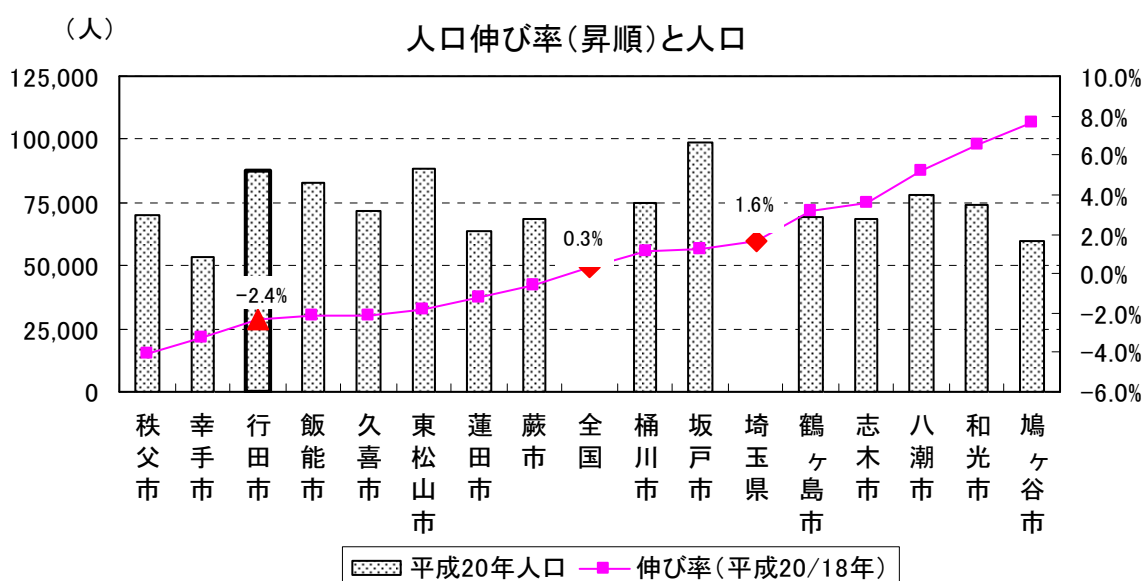
① 人口と人口伸び率

- 平成20年の類似都市の人口、平成15年からの人口伸び率は、以下のとおり。
- 行田市の人口の伸び率は、-2.4%、これは、埼玉県平均の1.6%、全国平均の0.3%を下回るもので、15都市の中で下から3番目となる。

■ 平成20年人口と伸び率(昇順)

	平成15年	平成20年	伸び率 平成20/15年
秩父市	73,048	70,081	-4.1%
幸手市	55,532	53,735	-3.2%
行田市	89,530	87,421	-2.4%
飯能市	84,564	82,767	-2.1%
久喜市	72,887	71,352	-2.1%
東松山市	89,804	88,179	-1.8%
蓮田市	64,478	63,680	-1.2%
蕨市	68,609	68,194	-0.6%
全国(平均)	126,688,364	127,066,178	0.3%
桶川市	74,293	75,098	1.1%
坂戸市	97,155	98,339	1.2%
埼玉県(平均)	6,954,276	7,067,336	1.6%
鶴ヶ島市	66,961	69,085	3.2%
志木市	65,882	68,221	3.6%
八潮市	73,926	77,810	5.3%
和光市	69,796	74,358	6.5%
鳩ヶ谷市	55,716	59,959	7.6%
茂原市(千)	95,061	94,230	-0.9%
あきる野市(東)	79,425	80,843	1.8%
綾瀬市(神)	79,824	80,615	1.0%
龍ヶ崎市(茨)	77,665	79,199	2.0%

資料：住民基本台帳(3月末)



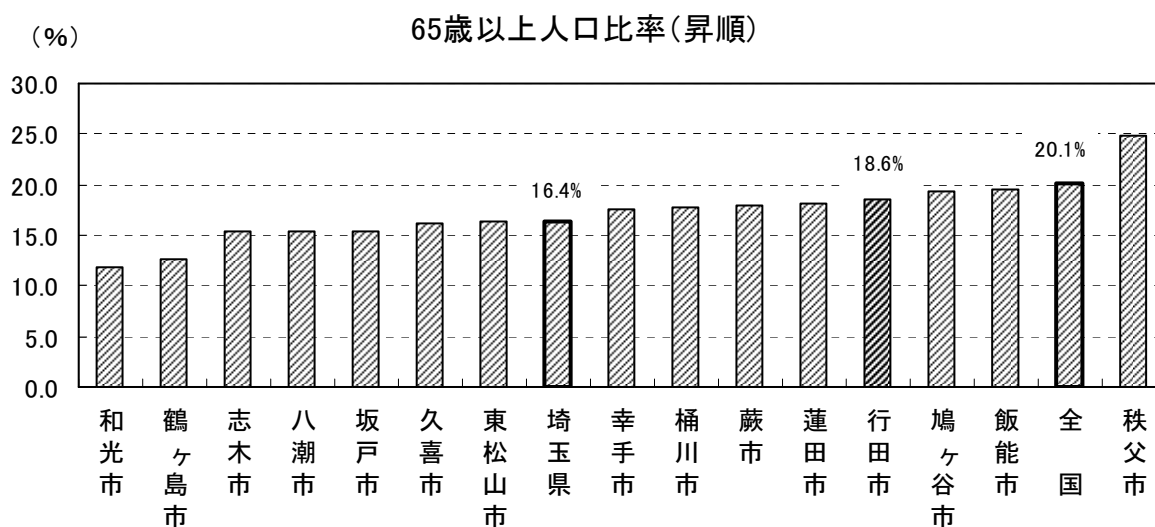
② 年齢別人口構成比

- 行田市の65歳以上高齢者人口の割合は18.6%で、埼玉県平均の16.4%、全国平均の20.1%を下回り、15都市の中で4番目に高齢化が進行している都市である。
- 15歳未満の年少人口の割合は13.6%で、全国平均、埼玉県平均を下回る。

■ 平成17年 年齢別人口構成比率(65歳以上昇順) (単位:%)

	0~14歳	15~64歳	65歳以上	不明	計
和光市	14.4	72.4	11.9	1.3	100.0
鶴ヶ島市	14.0	73.3	12.6	0.1	100.0
志木市	13.5	71.2	15.3	0.0	100.0
八潮市	14.6	69.8	15.4	0.2	100.0
坂戸市	13.2	71.3	15.4	0.1	100.0
久喜市	13.5	70.3	16.2	0.0	100.0
東松山市	13.0	70.3	16.4	0.3	100.0
埼玉県(平均)	14.0	69.4	16.4	0.2	100.0
幸手市	12.0	70.4	17.5	0.1	100.0
桶川市	13.8	68.5	17.7	0.0	100.0
蕨市	11.8	70.0	18.0	0.2	100.0
蓮田市	12.6	69.2	18.1	0.1	100.0
行田市	13.6	67.8	18.6	0.0	100.0
鳩ヶ谷市	13.6	67.0	19.3	0.1	100.0
飯能市	13.1	67.3	19.5	0.1	100.0
全国(平均)	13.7	65.8	20.1	0.4	100.0
秩父市	14.3	60.8	24.9	0.0	100.0
茂原市(千)	13.3	66.5	20.2	0.0	100.0
あきる野市(東)	14.6	66.1	19.2	0.1	100.0
綾瀬市(神)	14.3	70.2	15.3	0.2	100.0
龍ヶ崎市(茨)	15.1	69.0	15.3	0.6	100.0

資料:国勢調査



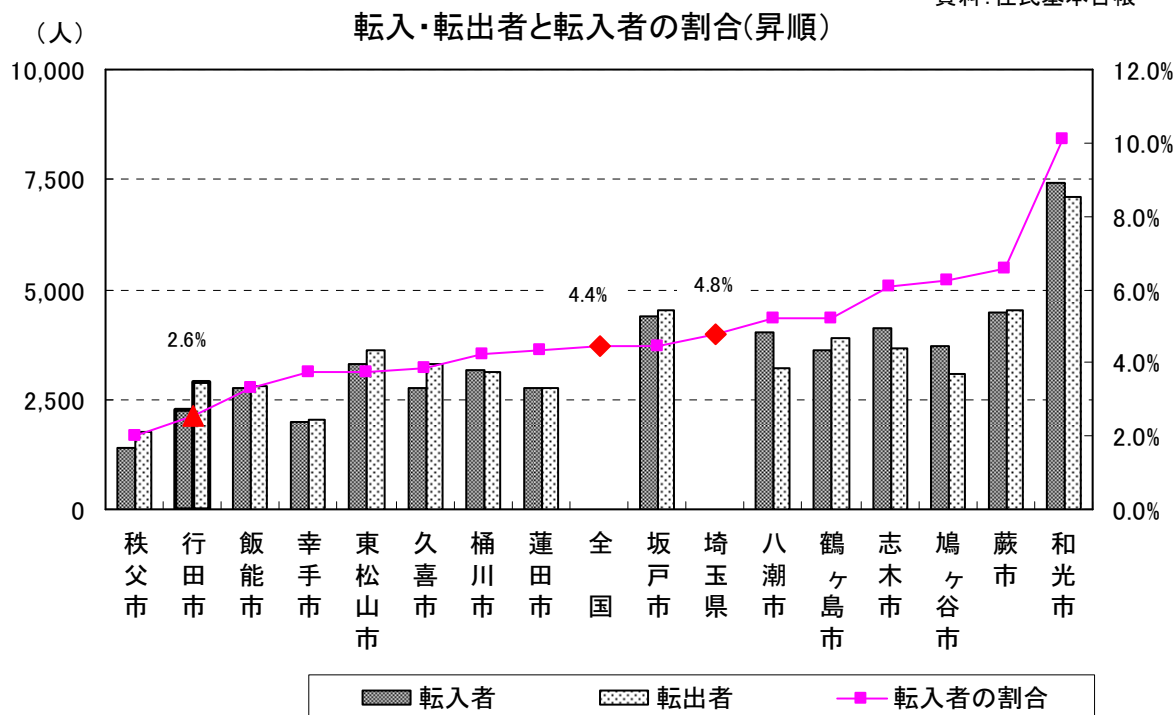
③ 人口動態

- 平成19年度の行田市の転入者人口は、市の人口に対し2.6%である。これは、埼玉県平均の4.8%、全国平均の4.4%を下回り、15都市中秩父市に次いで、転入者の割合が少ない都市である。

■ 平成19年度 自然増・社会増人口と転入者の割合(昇順)

	出生者	死亡者	自然増	転入者	転出者	社会増	増加人口	転入者の割合
秩父市	540	837	-297	1,415	1,753	-338	-635	2.0%
行田市	673	780	-107	2,262	2,881	-619	-726	2.6%
飯能市	540	756	-216	2,740	2,817	-77	-293	3.3%
幸手市	331	489	-158	2,011	2,051	-40	-198	3.7%
東松山市	651	664	-13	3,315	3,598	-283	-296	3.7%
久喜市	541	518	23	2,756	3,305	-549	-526	3.8%
桶川市	579	518	61	3,154	3,137	17	78	4.2%
蓮田市	509	496	13	2,776	2,774	2	15	4.4%
全国(平均)	1,096,465	1,125,584	-29119	5,627,314	5,604,537	22777	-6342	4.4%
坂戸市	810	679	131	4,383	4,510	-127	4	4.5%
埼玉県(平均)	60,974	51,040	9934	337,634	323,667	13967	23901	4.8%
八潮市	709	517	192	4,012	3,228	784	976	5.2%
鶴ヶ島市	659	395	264	3,621	3,907	-286	-22	5.2%
志木市	575	409	166	4,120	3,664	456	622	6.1%
鳩ヶ谷市	582	439	143	3,700	3,074	626	769	6.3%
蕨市	578	592	-14	4,482	4,521	-39	-53	6.6%
和光市	904	348	556	7,427	7,119	308	864	10.1%
茂原市(千)	687	902	-215	3,496	3,384	112	-103	3.7%
あきる野市(東)	666	810	-144	3,385	2,663	722	578	4.2%
綾瀬市(神)	720	539	181	3,957	3,921	36	217	4.9%
龍ヶ崎市(茨)	648	581	67	3,297	3,153	144	211	4.2%

資料:住民基本台帳



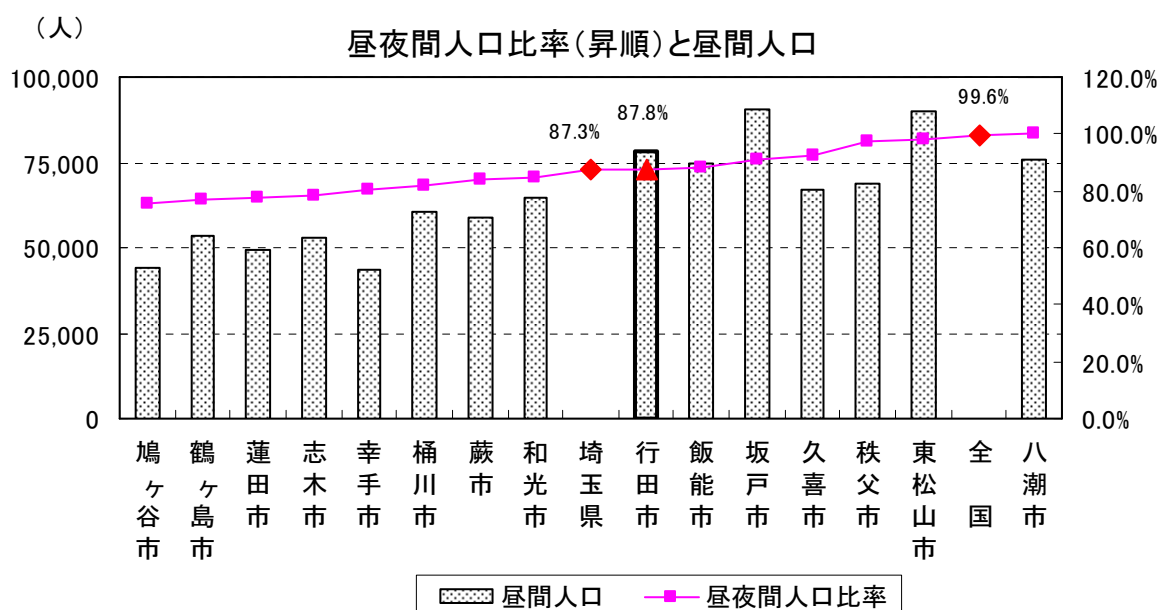
④ 昼間人口と昼夜間人口比率

- 平成17年国勢調査による行田市の昼夜間人口比率は87.8%で、ほぼ埼玉県平均レベルにある。

■ 平成17年昼間人口と昼夜間人口比率(昇順)

	夜間人口 (人)	昼間人口 (人)	昼夜間 人口比率
鳩ヶ谷市	58,355	44,061	75.5%
鶴ヶ島市	69,783	53,810	77.1%
蓮田市	63,474	49,479	78.0%
志木市	67,448	53,012	78.6%
幸手市	54,006	43,559	80.7%
桶川市	73,677	60,460	82.1%
蕨市	70,010	58,985	84.3%
和光市	76,688	64,837	84.5%
埼玉県(平均)	7,054,243	6,158,964	87.3%
行田市	88,815	77,946	87.8%
飯能市	84,860	74,843	88.2%
坂戸市	98,964	90,313	91.3%
久喜市	72,522	67,154	92.6%
秩父市	70,563	68,638	97.3%
東松山市	91,320	89,874	98.4%
全国(平均)	127,767,994	127,285,653	99.6%
八潮市	75,507	75,808	100.4%
茂原市(千)	93,260	91,141	97.7%
あきる野市(東)	79,587	67,814	85.2%
綾瀬市(神)	81,767	78,089	95.5%
龍ヶ崎市(茨)	78,950	68,413	86.7%

資料: 国勢調査



(2) 産業・都市基盤・利便性比較指標

① 産業別就業人口

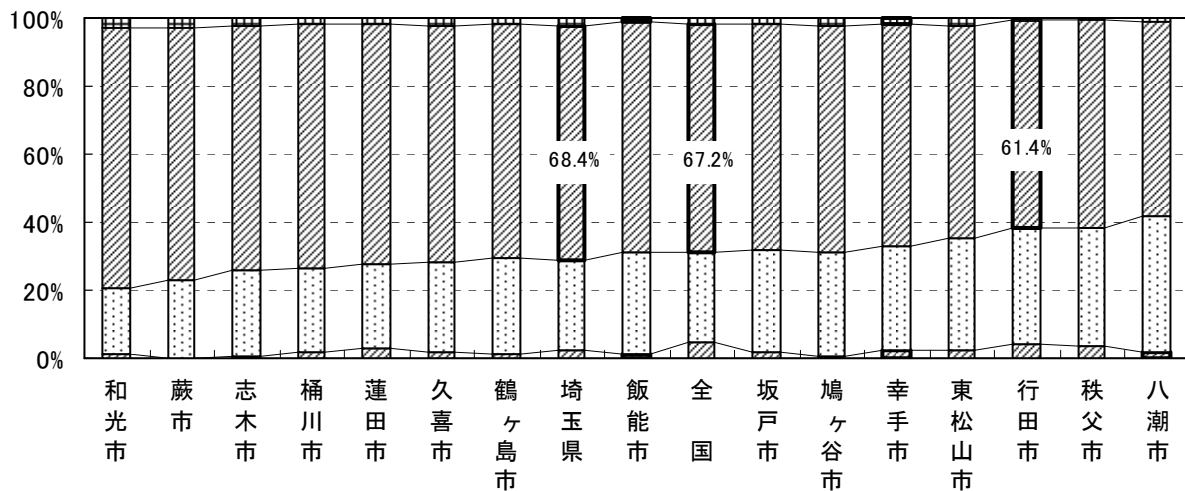
- ・ 平成 17 年国勢調査による産業別人口構成比は、下表のとおり。
- ・ 第 3 次産業構成比は、行田市は 15 都市中 3 番目に低いのが、第 2 次産業は、八潮市、秩父市の次に高くなっている

■ 平成17年 産業別人口構成比(第3次産業比率降順)(単位:%)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	不明	計
和光市	0.9	19.5	76.9	2.7	100.0
蕨市	0.1	22.7	74.3	2.9	100.0
志木市	0.8	25.2	71.5	2.5	100.0
桶川市	1.9	24.8	71.3	2.0	100.0
蓮田市	2.9	24.9	70.5	1.7	100.0
久喜市	2.0	26.3	69.3	2.4	100.0
鶴ヶ島市	1.1	28.1	68.8	2.0	100.0
埼玉県(平均)	2.2	26.8	68.4	2.6	100.0
飯能市	1.3	29.6	67.8	1.3	100.0
全国(平均)	4.8	26.1	67.2	1.9	100.0
坂戸市	1.7	30.1	66.2	2.0	100.0
鳩ヶ谷市	0.5	30.9	66.0	2.6	100.0
幸手市	2.5	30.2	65.8	1.5	100.0
東松山市	2.5	32.6	62.7	2.2	100.0
行田市	4.1	33.9	61.4	0.6	100.0
秩父市	3.6	34.8	61.3	0.3	100.0
八潮市	1.6	40.2	56.9	1.3	100.0
茂原市(千)	4.2	29.5	65.4	0.9	100.0
あきる野市(東)	2.0	28.0	67.2	2.8	100.0
綾瀬市(神)	1.2	34.3	61.8	2.7	100.0
龍ヶ崎市(茨)	2.9	26.6	67.6	2.9	100.0

資料: 国勢調査

産業別人口構成比率(第三次産業比率の降順)



□ 第1次産業 □ 第2次産業 ▨ 第3次産業 ■ 不明

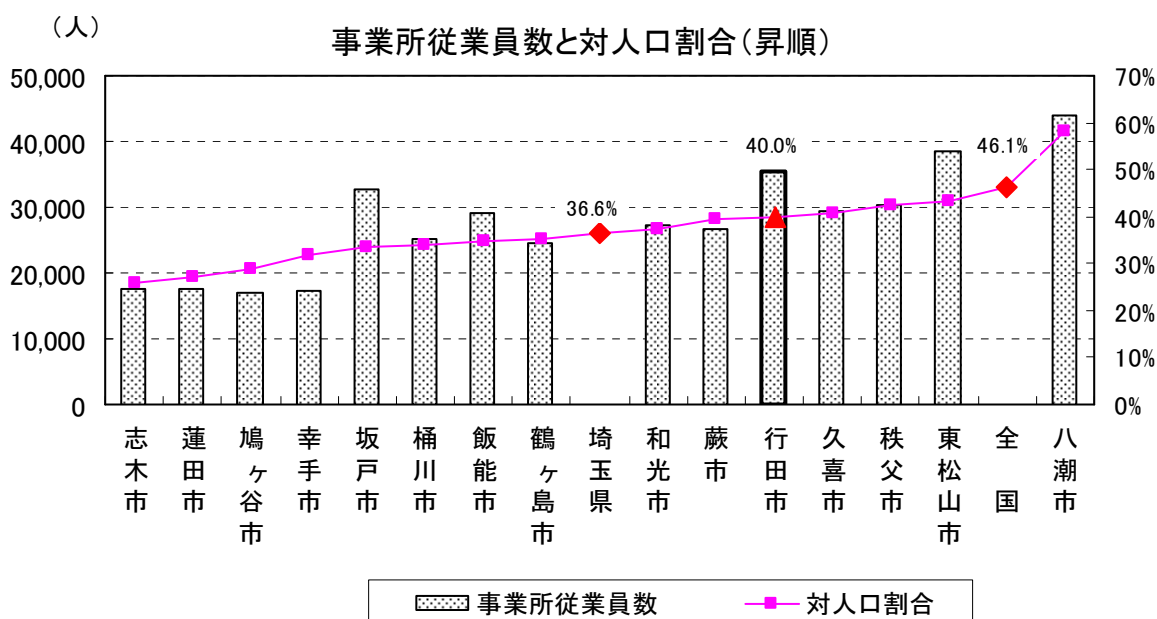
② 事業所数・事業所従業員数

- 平成18年行田市の事業所数は3,947件、同従業員数は35,444人で、行田市の人口の40.0%に相当する。
- 行田市の事業所従業員数の対人口割合は、埼玉県平均の36.6%を上回り、類似都市中5番目に高い。

■ 平成18年 事業所数と従業員数、対人口割合(昇順)

	事業所数		事業所従業員数		
	平成18年	伸び率 (18/13年)	平成18年	伸び率 (18/13年)	対人口 割合
志木市	2,166	-9.4%	17,437	-14.3%	26.0%
蓮田市	1,754	-3.3%	17,447	0.8%	27.3%
鳩ヶ谷市	2,438	-6.9%	16,921	-1.3%	29.0%
幸手市	2,103	-5.9%	17,160	0.2%	31.7%
坂戸市	3,230	-6.5%	32,665	-1.1%	33.4%
桶川市	2,499	-4.8%	25,211	3.5%	33.8%
飯能市	3,367	-6.1%	28,973	-1.2%	34.7%
鶴ヶ島市	2,264	-2.7%	24,399	10.6%	35.3%
埼玉県(平均)	254,835	-4.5%	2,567,058	0.4%	36.6%
和光市	1,707	5.6%	27,239	16.6%	37.4%
蕨市	3,080	-6.2%	26,726	4.3%	39.3%
行田市	3,947	1.5%	35,444	1.4%	40.0%
久喜市	2,651	-1.3%	29,410	7.7%	40.6%
秩父市	4,095	-6.3%	30,190	-6.0%	42.3%
東松山市	3,642	-6.9%	38,499	-1.6%	43.5%
全国(平均)	5,911,038	-6.9%	58,634,315	-2.5%	46.1%
八潮市	4,827	0.5%	43,907	1.8%	58.2%
茂原市(千)	3,690	-8.3%	38,311	-9.4%	40.7%
あきる野市(東)	2,554	-3.5%	25,049	0.1%	31.0%
綾瀬市(神)	3,038	-4.5%	38,293	2.4%	47.5%
龍ヶ崎市(茨)	2,677	1.6%	27,449	6.5%	34.7%

資料:事業所統計



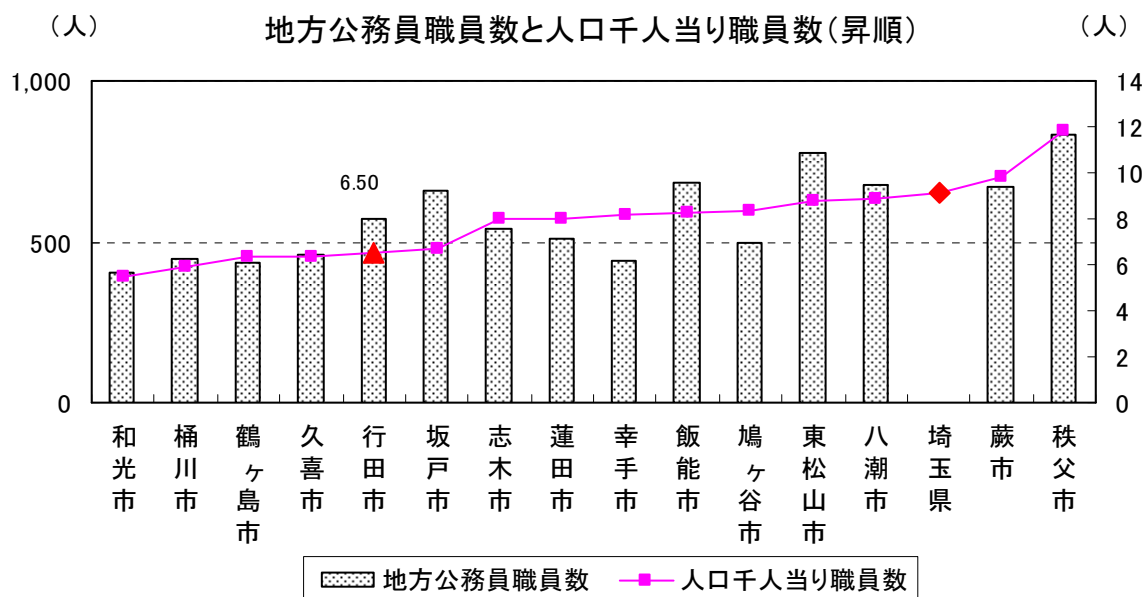
③ 市役所職員数

- 平成19年行田市役所職員数は573人で、人口千人当り6.50人である。これは15都市中、5番目に低い数値である。

■平成19年 地方公務員職員数と人口千人当り職員数(昇順)

	地方公務員職員数		人口千人当り職員数(人)
	平成19年(人)	増加率(19/18年)	
和光市	404	0.7%	5.50
桶川市	445	-1.8%	5.94
鶴ヶ島市	437	-1.4%	6.32
久喜市	457	-1.3%	6.36
行田市	573	-2.6%	6.50
坂戸市	659	-2.8%	6.70
志木市	539	-1.5%	7.97
蓮田市	508	-3.6%	7.98
幸手市	441	-1.8%	8.18
飯能市	683	-2.7%	8.22
鳩ヶ谷市	494	-2.4%	8.35
東松山市	775	-3.2%	8.76
八潮市	679	-0.4%	8.84
埼玉県(平均)	64,201	-0.5%	9.12
蕨市	669	0.1%	9.79
秩父市	835	-1.3%	11.81
茂原市(千)	692	-2.1%	7.34
あきる野市(東)	500	-2.3%	6.23
綾瀬市(神)	643	-1.5%	8.00
龍ヶ崎市(茨)	524	-0.9%	6.63

資料:地方公務員給与実態調査



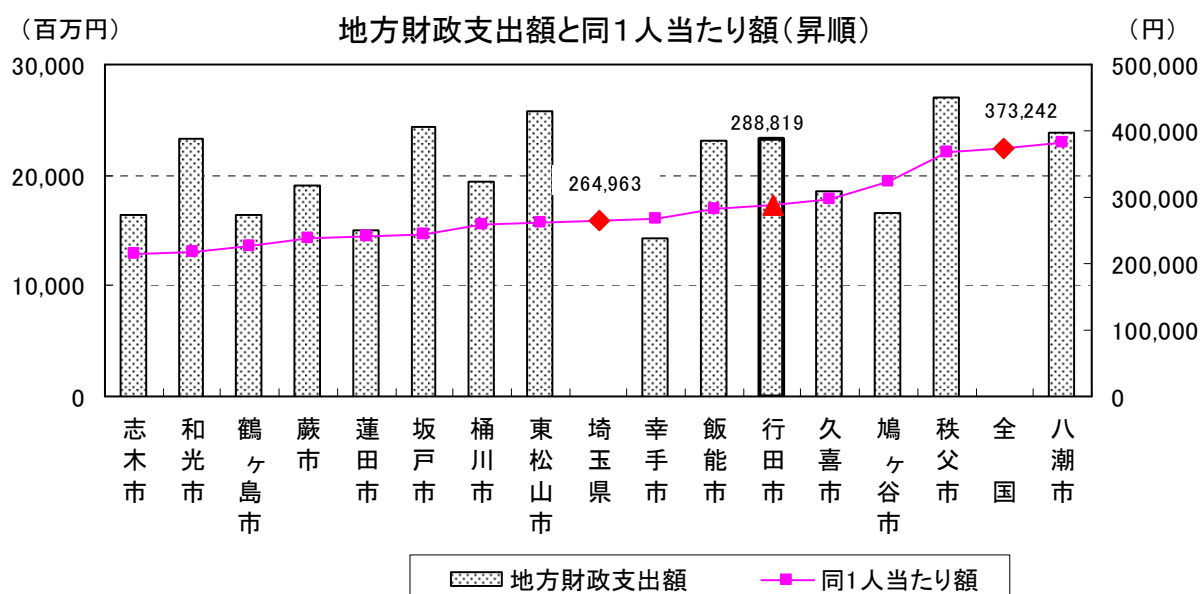
④ 市財政支出額・財政力指数

- 平成18年行田市の地方財政支出額は234億円で、人口一人当たり288,819円で、県平均の264,963円を上回り、15都市中5番目に高い都市である。
- また、財政力指数が低いほど、普通交付税算定上の留保財源が小さく、財源に余裕がないといえ、本市の財政力指数は0.73で、秩父市に次いで低い数値である。

■ 平成18年地方財政支出額と同人口当たり額(昇順)、財政力指数

	地方財政支出額		同1人当たり額 (円)	財政力 指数
	平成18年 (百万円)	増加率 (18/17年)		
志木市	16,472	6.3%	215,142	0.93
和光市	23,237	13.9%	217,547	1.21
鶴ヶ島市	16,382	-0.9%	226,457	0.91
蕨市	19,078	0.9%	237,379	0.87
蓮田市	14,959	-6.4%	239,993	0.80
坂戸市	24,330	-5.1%	245,025	0.86
桶川市	19,499	6.7%	257,437	0.84
東松山市	25,712	0.9%	260,470	0.91
埼玉県(平均)	1,896,228	-0.8%	264,963	
幸手市	14,327	0.7%	267,625	0.75
飯能市	23,059	0.8%	281,182	0.82
行田市	23,356	-20.1%	288,819	0.73
久喜市	18,606	0.1%	297,665	0.93
鳩ヶ谷市	16,618	2.8%	324,530	0.78
秩父市	26,983	-4.7%	368,074	0.61
全国(平均)	47,421,631	-2.3%	373,242	
八潮市	23,788	9.7%	381,134	1.03
茂原市(千)	23,663	-3.5%	251,048	0.84
あきる野市(東)	27,628	10.8%	344,431	0.81
綾瀬市(神)	23,952	0.1%	297,995	1.01
龍ヶ崎市(茨)	21,895	-0.3%	277,223	0.77

資料:市町村別決算状況調

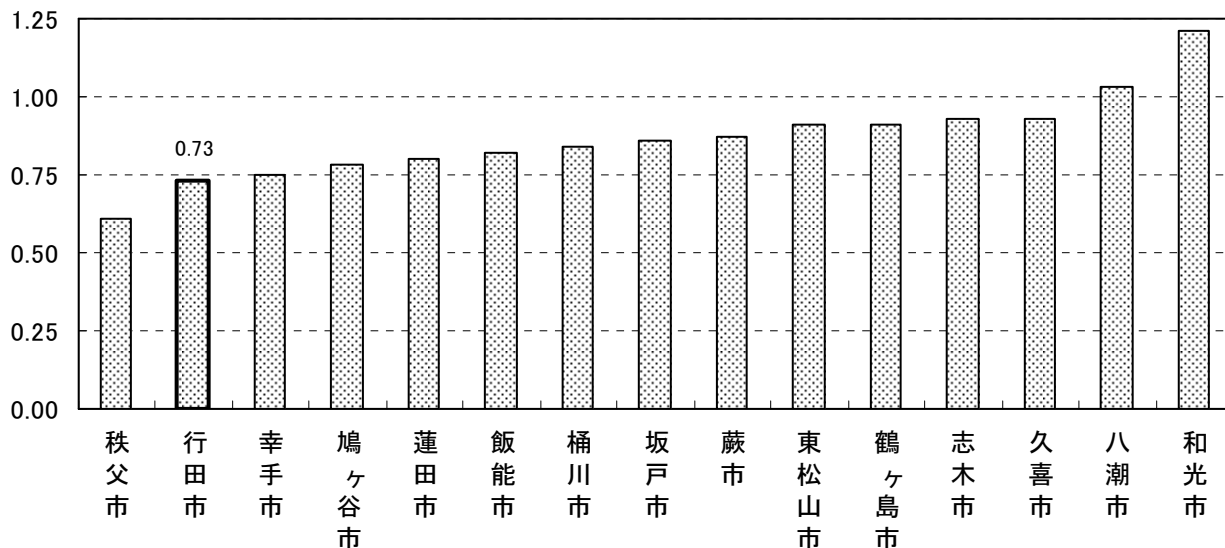


■ 平成18年地方財政支出額と
同1人当たり額、財政力指数(昇順)

	地方財政支出額		同1人当 たり額 (円)	財政力 指数
	平成18年 (百万円)	増加率 (18/17年)		
秩父市	26,983	-4.7%	368,074	0.61
行田市	23,356	-20.1%	288,819	0.73
幸手市	14,327	0.7%	267,625	0.75
鳩ヶ谷市	16,618	2.8%	324,530	0.78
蓮田市	14,959	-6.4%	239,993	0.80
飯能市	23,059	0.8%	281,182	0.82
桶川市	19,499	6.7%	257,437	0.84
坂戸市	24,330	-5.1%	245,025	0.86
蕨市	19,078	0.9%	237,379	0.87
鶴ヶ島市	16,382	-0.9%	226,457	0.91
東松山市	25,712	0.9%	260,470	0.91
志木市	16,472	6.3%	215,142	0.93
久喜市	18,606	0.1%	297,665	0.93
八潮市	23,788	9.7%	381,134	1.03
和光市	23,237	13.9%	217,547	1.21
埼玉県(平均)	1,896,228	-0.8%	264,963	
全国(平均)	47,421,631	-2.3%	373,242	
茂原市(千)	23,663	-3.5%	251,048	0.84
あきる野市(東)	27,628	10.8%	344,431	0.81
綾瀬市(神)	23,952	0.1%	297,995	1.01
龍ヶ崎市(茨)	21,895	-0.3%	277,223	0.77

資料:市町村別決算状況調

財政力指数(昇順)



※財政力指数は、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値で、財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

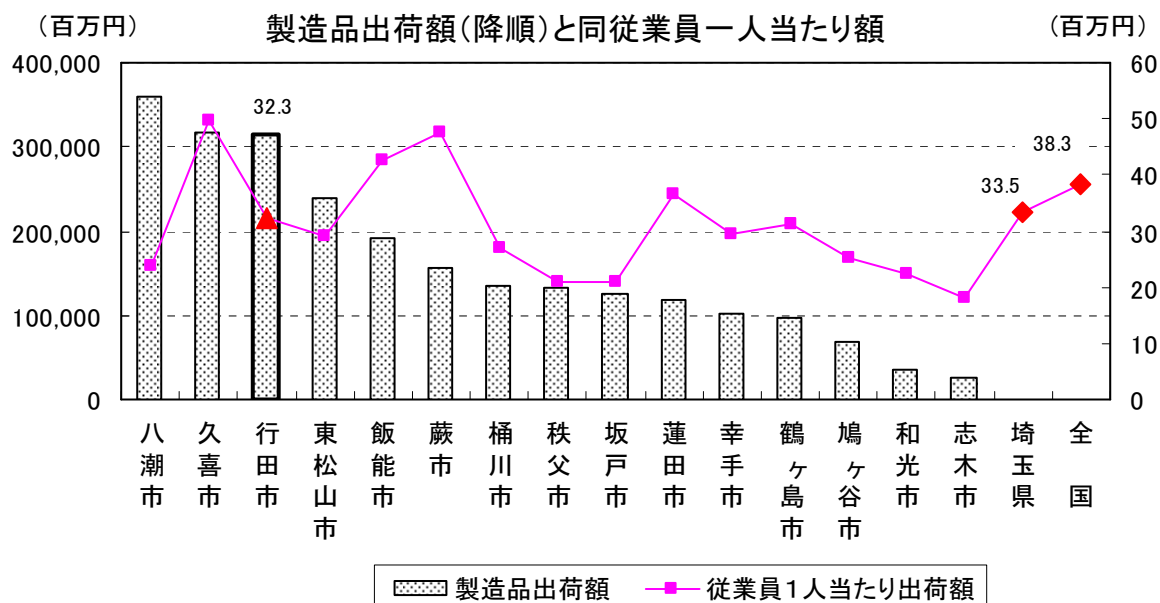
⑤ 工場・工場従業者数・製造品出荷額

- 平成18年行田市の製造品出荷額は3,157億円で、15都市中3番目に出荷額の多い都市である。平成17年から18年に事業所数が7.3%、従業員数が13.7%、製造品出荷額は12.3%の増加となっている。

■ 平成18年 製造業事業所数、従業者数、製造品出荷額(降順)

	事業所数		従業者数(人)		製造品出荷額(100万円)		
	平成18年	増加率(18/17年)	平成18年	増加率(18/17年)	平成18年	増加率(18/17年)	従業員1人当たり
八潮市	834	-4.6%	14,995	2.5%	359,289	2.6%	24.0
久喜市	128	3.2%	6,398	1.5%	317,592	0.9%	49.6
行田市	264	7.3%	9,773	13.7%	315,688	12.3%	32.3
東松山市	162	-10.5%	8,234	-13.7%	239,122	-9.1%	29.0
飯能市	160	-10.1%	4,471	-2.1%	190,880	5.2%	42.7
蕨市	107	-4.5%	3,307	-0.3%	157,385	7.2%	47.6
桶川市	125	-7.4%	4,954	0.9%	134,461	-2.8%	27.1
秩父市	196	-8.4%	6,348	0.2%	132,480	1.7%	20.9
坂戸市	136	-4.9%	5,997	-17.0%	126,306	-11.3%	21.1
蓮田市	83	-4.6%	3,222	0.2%	117,907	2.5%	36.6
幸手市	120	2.6%	3,425	-11.2%	101,135	-0.3%	29.5
鶴ヶ島市	77	-10.5%	3,110	3.1%	96,642	5.1%	31.1
鳩ヶ谷市	204	-6.0%	2,718	-6.4%	68,260	1.7%	25.1
和光市	99	-2.0%	1,625	-1.5%	36,514	4.7%	22.5
志木市	105	-7.1%	1,473	-13.7%	26,695	-66.5%	18.1
埼玉県(平均)	14,969	-5.4%	424,662	0.8%	14,231,621	3.1%	33.5
全国(平均)	258,543	-6.6%	8,225,442	0.8%	314,834,621	6.4%	38.3
茂原市(千)	110	-4.3%	8,923	6.0%	331,947	-3.6%	37.2
あきる野市(東)	126	-5.3%	2,985	16.1%	64,235	69.1%	21.5
綾瀬市(神)	455	-6.6%	13,351	1.4%	395,930	11.4%	29.7
龍ヶ崎市(茨)	95	-3.1%	4,893	-0.8%	190,655	-0.5%	39.0

資料:工業統計



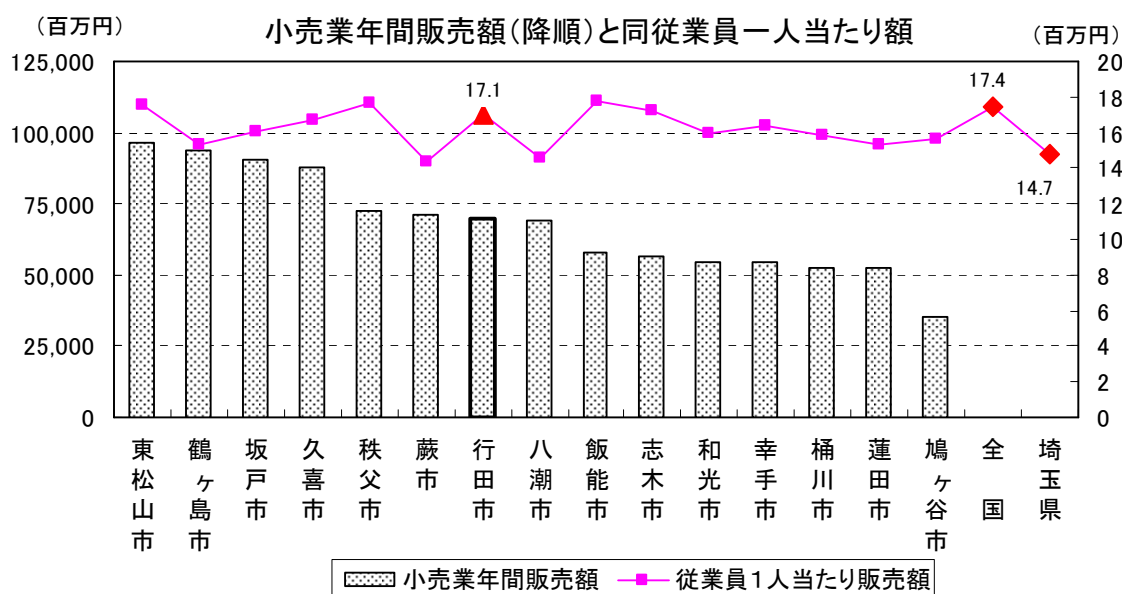
⑥ 小売商店数・従業者数・年間販売額

- 平成19年行田市の小売業の年間販売額は695億円で、15都市の中で7番目となっている。

■ 平成19年 小売業事業所数、従業者数、年間販売額(降順)

	事業所数(店)		従業者数(人)		小売業年間販売額(百万円)		
	平成19年	増加率 (19/16年)	平成19年	増加率 (19/16年)	平成19年	増加率 (19/16年)	従業員1人 当たり
東松山市	718	-7.9%	5,788	-7.1%	96,699	-7.9%	16.9
鶴ヶ島市	455	-2.2%	4,990	8.1%	94,018	21.4%	16.8
坂戸市	621	-5.3%	4,886	-9.9%	90,223	-4.4%	17.4
久喜市	493	-8.9%	4,594	-4.3%	87,486	-0.8%	18.4
秩父市	814	-1.3%	4,950	9.4%	72,322	3.5%	15.4
蕨市	564	-12.6%	4,449	-11.6%	71,241	-8.7%	15.5
行田市	726	2.0%	4,635	7.9%	69,538	13.6%	14.3
八潮市	493	-0.4%	3,588	6.6%	69,154	8.3%	19.0
飯能市	668	-4.0%	4,301	-9.1%	57,643	-5.8%	12.9
志木市	369	-16.3%	3,105	-8.0%	56,791	3.7%	16.2
和光市	261	-6.1%	2,606	-12.0%	54,800	-8.6%	20.2
幸手市	421	-5.0%	3,271	13.9%	54,317	11.0%	17.0
桶川市	510	-5.2%	3,548	-4.4%	52,825	-4.5%	14.9
蓮田市	358	-2.7%	2,911	15.3%	52,262	19.0%	17.4
鳩ヶ谷市	390	-10.6%	2,231	-3.0%	35,185	-9.5%	16.9
埼玉県(平均)	44,555	-2.1%	356,975	2.6%	6,329,494	4.5%	17.4
全国(平均)	1,136,755	-8.2%	7,589,375	-2.2%	134,571,675	1.0%	17.2
茂原市(千)	875	-9.8%	6,531	-4.4%	112,573	-5.5%	17.2
あきる野市(東)	575	-3.2%	4,068	1.6%	70,674	4.0%	17.4
綾瀬市(神)	377	4.1%	3,950	13.0%	60,164	4.7%	15.2
龍ヶ崎市(茨)	573	-3.2%	5,029	-0.7%	83,043	0.3%	16.5

資料:商業統計



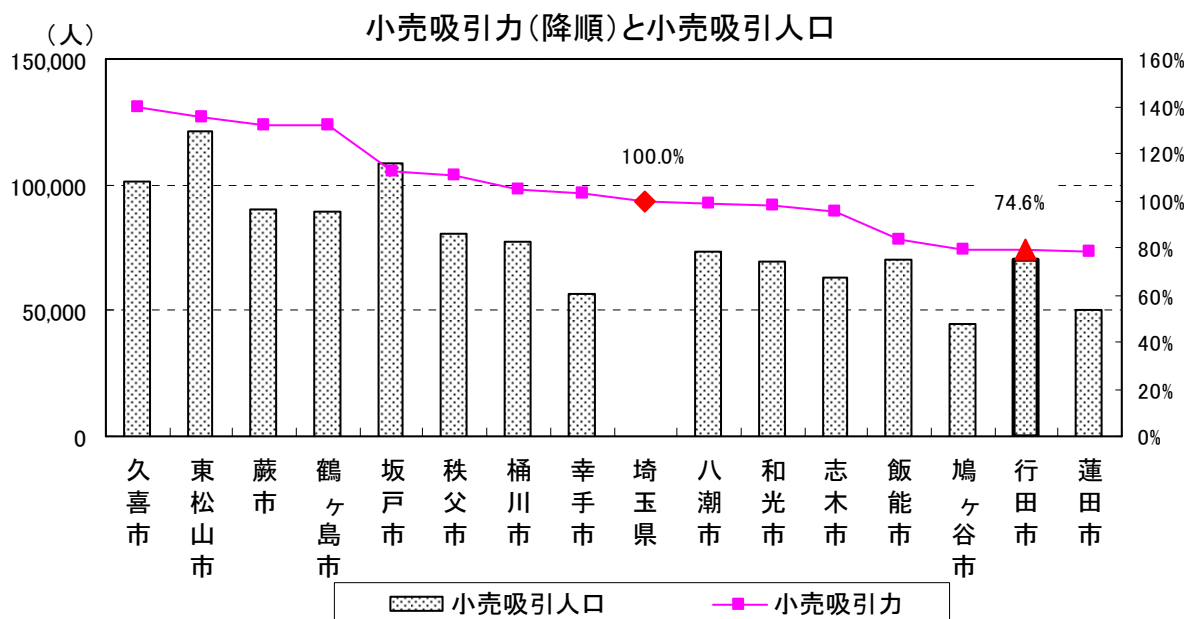
⑦ 小売吸引力と小売吸引人口

- 平成19年行田市の小売吸引力は78.9%で、21.1%の購買額が市外へ流出している。これは15都市の中で2番目に低い数値である。

■ 平成19年 小売吸引力(降順)と小売吸引人口

	a	b	c .(a/b)	d. c/県平	e. b×d
	年間 販売額	人口 (平成19年)	一人当 り販売額	小売吸引 力	小売吸引 人口
	100万円	人	千円	%	人
久喜市	87,486	72,808	1,211.4	139.6%	101,671
東松山市	96,699	89,460	1,173.6	135.3%	121,022
蕨市	71,241	68,262	1,142.7	131.7%	89,912
鶴ヶ島市	94,018	67,840	1,141.2	131.6%	89,244
坂戸市	90,223	96,823	974.4	112.3%	108,751
秩父市	72,322	72,525	963.4	111.1%	80,540
桶川市	52,825	73,734	908.7	104.7%	77,233
幸手市	54,317	54,975	890.2	102.6%	56,413
埼玉県(平均)	6,329,494	6,980,889	867.5	100.0%	6,980,889
八潮市	69,154	74,218	860.0	99.1%	73,571
和光市	54,800	70,358	851.7	98.2%	69,075
志木市	56,791	66,142	827.6	95.4%	63,101
飯能市	57,643	84,319	725.9	83.7%	70,555
鳩ヶ谷市	35,185	56,391	689.6	79.5%	44,826
行田市	69,538	89,472	684.1	78.9%	70,554
蓮田市	52,262	64,339	682.8	78.7%	50,640
全国(平均)	134,571,675	126,824,166	1,050.9		
茂原市(千)	112,573	94,258	1,194.3	125.8%	118,623
あきる野市(東)	70,674	80,213	881.1	63.0%	50,561
綾瀬市(神)	60,164	80,377	748.5	76.5%	61,524
龍ヶ崎市(茨)	83,043	78,979	1,051.5	106.1%	83,814

資料:商業統計



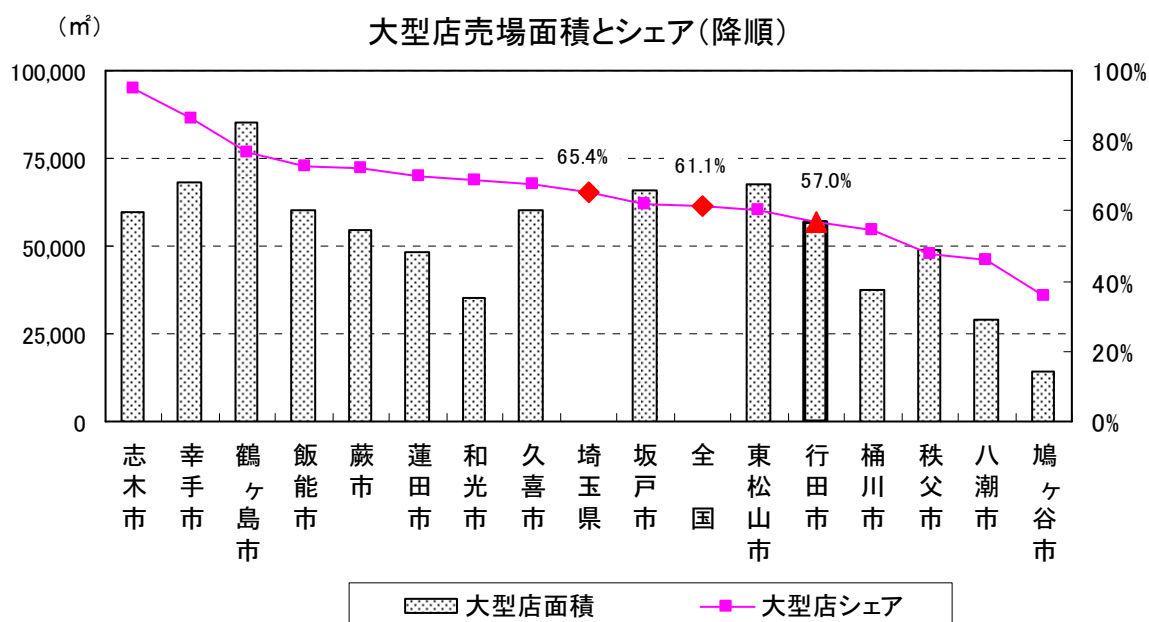
⑧ 大型店売場面積と大型店シェア

- 平成19年行田市の大型店は18店、大型店売場面積は56,919㎡で、小売業全体に占める割合は57.0%である。これは埼玉県平均の65.4%を下回り、15都市の中で5番目に低い。

■平成19年 売場面積と大型店店舗数・面積、大型店シェア(降順)

	平成19年 売場面積 (㎡)	大型店(平成19年5月)		大型店 シェア
		店舗数 (㎡)	面積 (㎡)	
志木市	62,780	7	59,503	94.8%
幸手市	78,693	17	68,156	86.6%
鶴ヶ島市	111,006	17	85,361	76.9%
飯能市	82,260	10	59,969	72.9%
蕨市	75,406	10	54,362	72.1%
蓮田市	69,117	11	48,135	69.6%
和光市	51,029	8	35,002	68.6%
久喜市	89,157	16	60,183	67.5%
埼玉県(平均)	6,965,436	1,039	4,552,577	65.4%
坂戸市	105,795	25	65,722	62.1%
全国(平均)	151,907,424	19,810	92,845,773	61.1%
東松山市	111,441	17	67,411	60.5%
行田市	99,883	18	56,919	57.0%
桶川市	69,023	10	37,710	54.6%
秩父市	102,964	17	48,984	47.6%
八潮市	62,642	8	28,854	46.1%
鳩ヶ谷市	39,731	6	14,145	35.6%
茂原市(千)	150,984	34	128,440	85.1%
あきる野市(東)	79,207	11	36,308	45.8%
綾瀬市(神)	72,746	11	53,585	73.7%
龍ヶ崎市(茨)	130,625	20	101,983	78.1%

資料：商業統計、全国大型小売店総覧



⑨ 課税対象所得額と所得水準

- 平成19年行田市の納税義務者一人当たりの課税対象所得額は、325.6万円である。これは全国平均の339.4万円に比べ95.9%の水準である。この水準は、15都市中3番目に低い数値である。

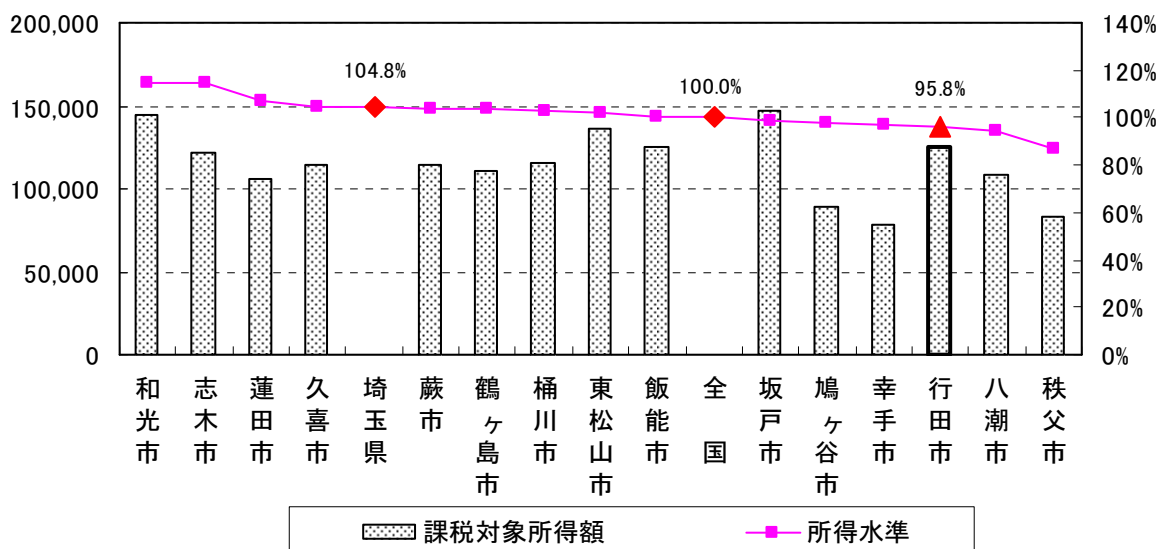
■平成18年 課税対象所得額と同一人当たり所得額
(所得水準降順)

	課税対象所得額		納税義務者(人)	同一人当たり所得額	
	平成18年 (百万円)	伸び率 (18/1年)		(千円)	水準値 全国平均:100
和光市	144,490	4.8%	37,082	3,896	114.8%
志木市	121,911	6.5%	31,380	3,885	114.4%
蓮田市	106,515	4.4%	29,248	3,642	107.3%
久喜市	114,675	1.6%	32,225	3,559	104.8%
埼玉県(平均)	11,303,368	4.0%	3,178,425	3,556	104.8%
蕨市	114,348	3.9%	32,401	3,529	104.0%
鶴ヶ島市	110,460	2.4%	31,449	3,512	103.5%
桶川市	115,300	3.7%	33,071	3,486	102.7%
東松山市	136,176	3.4%	39,240	3,470	102.2%
飯能市	125,026	4.0%	36,558	3,420	100.7%
全国(平均)	186,826,067	4.6%	55,037,980	3,394	100.0%
坂戸市	147,294	3.1%	44,026	3,346	98.6%
鳩ヶ谷市	89,153	6.4%	26,930	3,311	97.5%
幸手市	77,755	2.9%	23,552	3,301	97.3%
行田市	124,956	4.6%	38,372	3,256	95.9%
八潮市	108,916	4.4%	33,893	3,214	94.7%
秩父市	83,148	3.8%	28,217	2,947	86.8%
茂原市(千)	134,238	3.6%	40,713	3,297	97.1%
あきる野市(東)	124,708	3.0%	35,708	3,492	102.9%
綾瀬市(神)	131,148	0.0%	38,153	3,437	101.3%
龍ヶ崎市(茨)	118,458	4.4%	33,087	3,580	105.5%

資料:市町村税課税状況等の調

(百万円)

課税対象所得額と所得水準(降順)



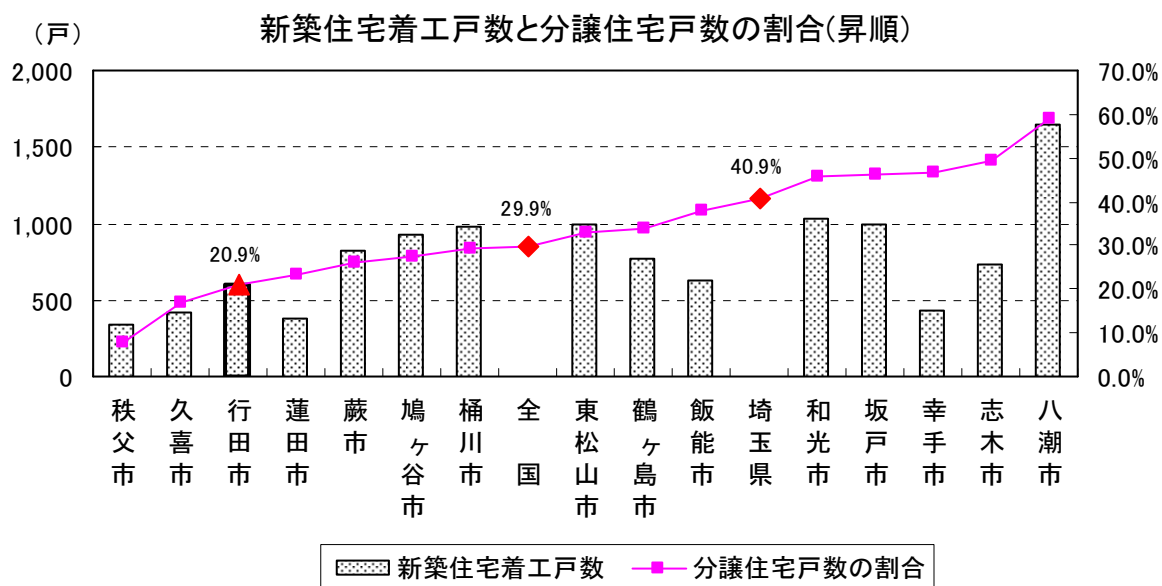
⑩ 新築住宅着工戸数、利用関係別構成比、着工床面積

- 平成18年行田市の新築住宅598戸のうち、持家が60.0%、分譲住宅が20.9%、貸家が19.1%である。分譲住宅の割合は、埼玉県平均の40.9%の半分の割合で、個人が持家を建てるケースが多い。

■ 平成18年 新築住宅着工戸数と同利用関係別構成比(分譲住宅戸数の割合昇順)

	新築住宅着工戸数		同利用関係別構成比			新築住宅着工床面積(m ²)	一戸あたり床面積(m ²)
	平成18年	伸び率(17/16年)	持家	貸家	分譲住宅		
秩父市	339	-0.9%	79.5%	12.5%	8.0%	40,706	120.8
久喜市	416	-15.8%	56.7%	26.4%	16.9%	41,517	99.8
行田市	598	-7.7%	60.0%	19.1%	20.9%	64,458	108.0
蓮田市	381	-40.2%	61.7%	15.0%	23.3%	40,430	106.1
蕨市	826	-17.5%	16.3%	57.4%	26.3%	51,869	62.8
鳩ヶ谷市	934	-33.9%	19.1%	53.6%	27.3%	66,329	71.0
桶川市	986	73.0%	32.6%	38.1%	29.3%	80,639	81.9
全国(平均)	1,285,246	2.9%	27.9%	42.2%	29.9%	108,646,936	85.1
東松山市	991	3.7%	38.5%	28.4%	33.1%	94,395	95.3
鶴ヶ島市	766	-29.8%	28.6%	37.6%	33.8%	62,468	81.6
飯能市	626	-13.1%	43.8%	18.1%	38.1%	69,355	111.0
埼玉県(平均)	77,427	0.1%	28.0%	31.1%	40.9%	6,669,984	86.6
和光市	1,037	13.7%	11.8%	42.3%	45.9%	77,011	74.3
坂戸市	993	-17.8%	37.0%	16.9%	46.1%	99,094	99.8
幸手市	436	-6.0%	37.2%	16.1%	46.7%	45,110	103.5
志木市	730	-24.5%	23.4%	27.4%	49.2%	61,117	83.7
八潮市	1,649	22.1%	16.9%	24.1%	59.0%	142,104	86.2
茂原市(千)	737	-25.3%	54.4%	36.8%	8.8%	69,546	94.4
あきる野市(東)	805	5.0%	31.9%	15.7%	52.4%	77,475	96.2
綾瀬市(神)	863	76.5%	37.0%	33.7%	29.3%	73,220	84.8
龍ヶ崎市(茨)	587	-0.8%	63.7%	16.2%	20.1%	67,420	114.9

資料: 建築統計年報



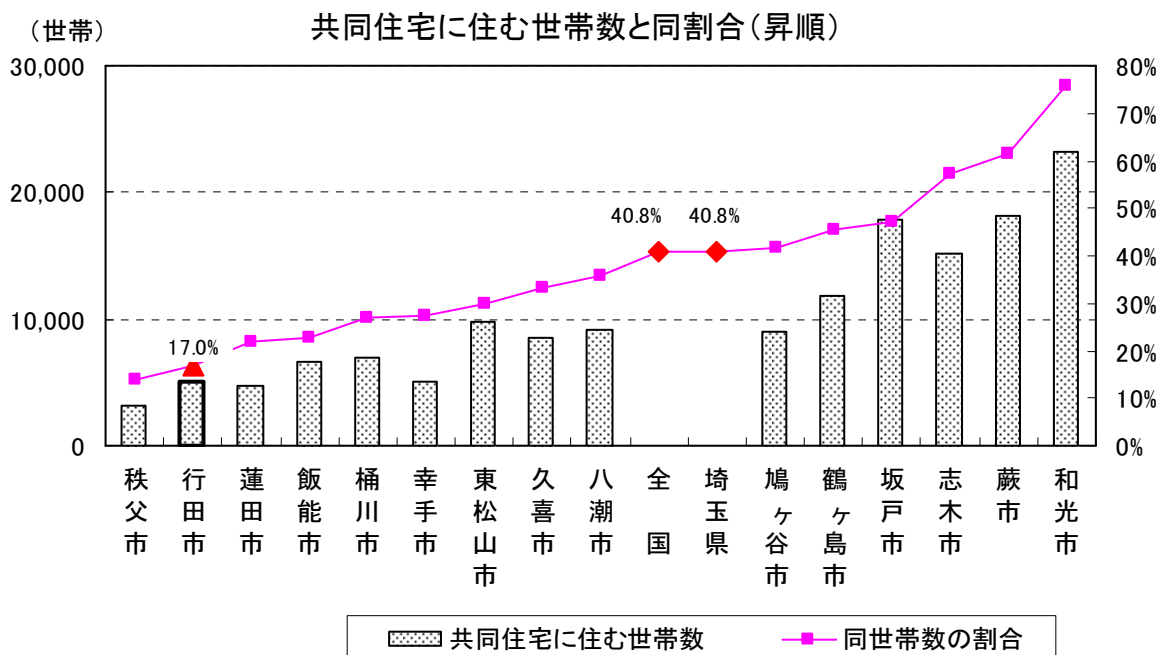
⑪ 住宅種別世帯数（一戸建て・共同住宅）、持家世帯比率等

- 行田市の住宅は、世帯数の83.0%は一戸建て住宅に住み、共同住宅に住む世帯は17.0%に過ぎない。一戸建て志向は郊外に進むほど強くなり、行田市は秩父市に次いで高い数値となっている。

■ 平成17年 住宅種別世帯数と持家世帯比率、一世帯当り延面積
(共同住宅の割合昇順)

	住宅に住む世帯数 (世帯)			構成比		持家世帯比率	1世帯あたり延面積 (㎡)
	世帯数	一戸建て	共同住宅	一戸建て	共同住宅		
秩父市	24,087	19,689	3,186	86.1%	13.9%	77.3%	110.5
行田市	29,973	24,593	5,047	83.0%	17.0%	75.1%	101.6
蓮田市	22,199	16,994	4,759	78.1%	21.9%	75.7%	99.0
飯能市	29,630	22,379	6,615	77.2%	22.8%	74.9%	95.1
桶川市	26,047	18,567	6,912	72.9%	27.1%	74.1%	92.4
幸手市	18,511	13,289	5,035	72.5%	27.5%	70.6%	94.9
東松山市	32,772	22,607	9,721	69.9%	30.1%	69.3%	95.1
久喜市	25,990	17,106	8,592	66.6%	33.4%	66.1%	91.5
八潮市	26,378	16,305	9,086	64.2%	35.8%	67.3%	84.1
全国(平均)	48,168,309	27,533,066	19,014,478	57.2%	40.8%	62.1%	91.8
埼玉県(平均)	2,590,172	1,500,777	1,040,520	59.1%	40.9%	66.3%	84.5
鳩ヶ谷市	22,245	12,622	8,951	58.5%	41.5%	66.3%	76.7
鶴ヶ島市	26,331	14,106	11,806	54.4%	45.6%	62.1%	80.1
坂戸市	38,546	20,119	17,909	52.9%	47.1%	58.9%	79.4
志木市	26,759	11,307	15,107	42.8%	57.2%	63.3%	73.0
蕨市	30,185	11,443	18,101	38.7%	61.3%	51.8%	66.2
和光市	30,967	7,474	23,141	24.4%	75.6%	47.6%	62.8
茂原市(千)	33,260	26,730	5,933	81.8%	18.2%	75.1%	101.2
あきる野市(東)	27,346	21,554	5,332	80.2%	19.8%	73.1%	92.8
綾瀬市(神)	29,140	19,637	8,871	68.9%	31.1%	70.1%	81.2
龍ヶ崎市(茨)	27,173	19,459	7,299	72.7%	27.3%	72.7%	103.2

資料: 国勢調査

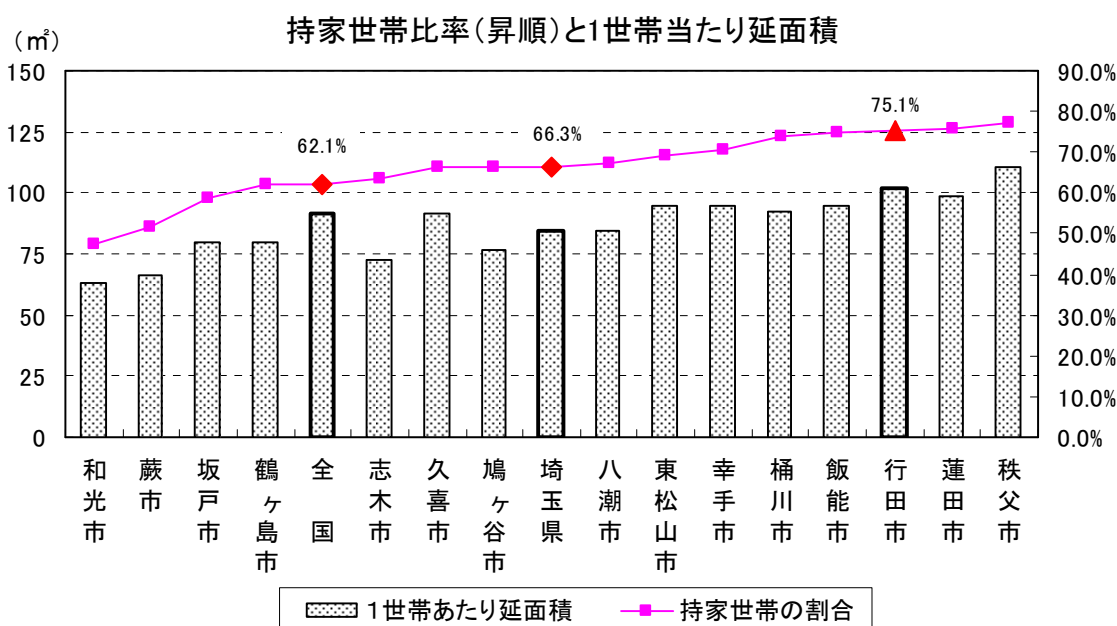


- ・ 行田市の持家比率は75.1%で、15都市中3番目に高い都市である。また、1世帯当たり延面積は101.6㎡で、15都市中秩父市に次いで大きい。

■ 平成17年 住宅種類別世帯数と持家世帯比率、一世帯当たり延面積
(持家世帯比率の昇順)

	住宅に住む世帯数 (世帯)			構成比		持家世帯比率	1世帯あたり延面積 (㎡)
	世帯数	一戸建て	共同住宅	一戸建て	共同住宅		
和光市	30,967	7,474	23,141	24.4%	75.6%	47.6%	62.8
蕨市	30,185	11,443	18,101	38.7%	61.3%	51.8%	66.2
坂戸市	38,546	20,119	17,909	52.9%	47.1%	58.9%	79.4
鶴ヶ島市	26,331	14,106	11,806	54.4%	45.6%	62.1%	80.1
全国(平均)	48,168,309	27,533,066	19,014,478	57.2%	40.8%	62.1%	91.8
志木市	26,759	11,307	15,107	42.8%	57.2%	63.3%	73.0
久喜市	25,990	17,106	8,592	66.6%	33.4%	66.1%	91.5
鳩ヶ谷市	22,245	12,622	8,951	58.5%	41.5%	66.3%	76.7
埼玉県(平均)	2,590,172	1,500,777	1,040,520	59.1%	40.9%	66.3%	84.5
八潮市	26,378	16,305	9,086	64.2%	35.8%	67.3%	84.1
東松山市	32,772	22,607	9,721	69.9%	30.1%	69.3%	95.1
幸手市	18,511	13,289	5,035	72.5%	27.5%	70.6%	94.9
桶川市	26,047	18,567	6,912	72.9%	27.1%	74.1%	92.4
飯能市	29,630	22,379	6,615	77.2%	22.8%	74.9%	95.1
行田市	29,973	24,593	5,047	83.0%	17.0%	75.1%	101.6
蓮田市	22,199	16,994	4,759	78.1%	21.9%	75.7%	99.0
秩父市	24,087	19,689	3,186	86.1%	13.9%	77.3%	110.5
茂原市(千)	33,260	26,730	5,933	81.8%	18.2%	75.1%	101.2
あきる野市(東)	27,346	21,554	5,332	80.2%	19.8%	73.1%	92.8
綾瀬市(神)	29,140	19,637	8,871	68.9%	31.1%	70.1%	81.2
龍ヶ崎市(茨)	27,173	19,459	7,299	72.7%	27.3%	72.7%	103.2

資料: 国勢調査



⑫ 下水道普及率

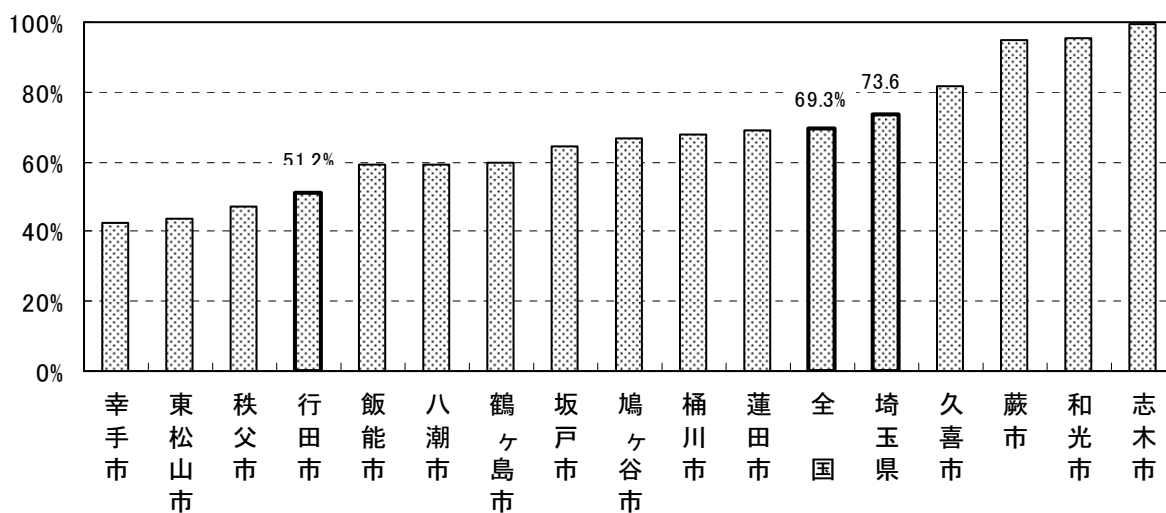
- 平成 18 年行田市の下水道普及率は 51.2%で、埼玉県の 73.6%を大きく下回り、15 都市中 4 番目に低い都市である。

■平成18年 下水道普及率(昇順)

	下水道普及率
幸手市	42.5%
東松山市	43.9%
秩父市	46.9%
行田市	51.2%
飯能市	59.3%
八潮市	59.4%
鶴ヶ島市	59.8%
坂戸市	64.4%
鳩ヶ谷市	66.5%
桶川市	67.9%
蓮田市	68.8%
全国(平均)	69.3%
埼玉県(平均)	73.6%
久喜市	81.7%
蕨市	94.7%
和光市	95.2%
志木市	99.7%
茂原市(千)	33.1%
あきる野市(東)	84.4%
綾瀬市(神)	92.7%
龍ヶ崎市(茨)	77.3%

資料：日本下水道協会

下水道普及率(昇順)



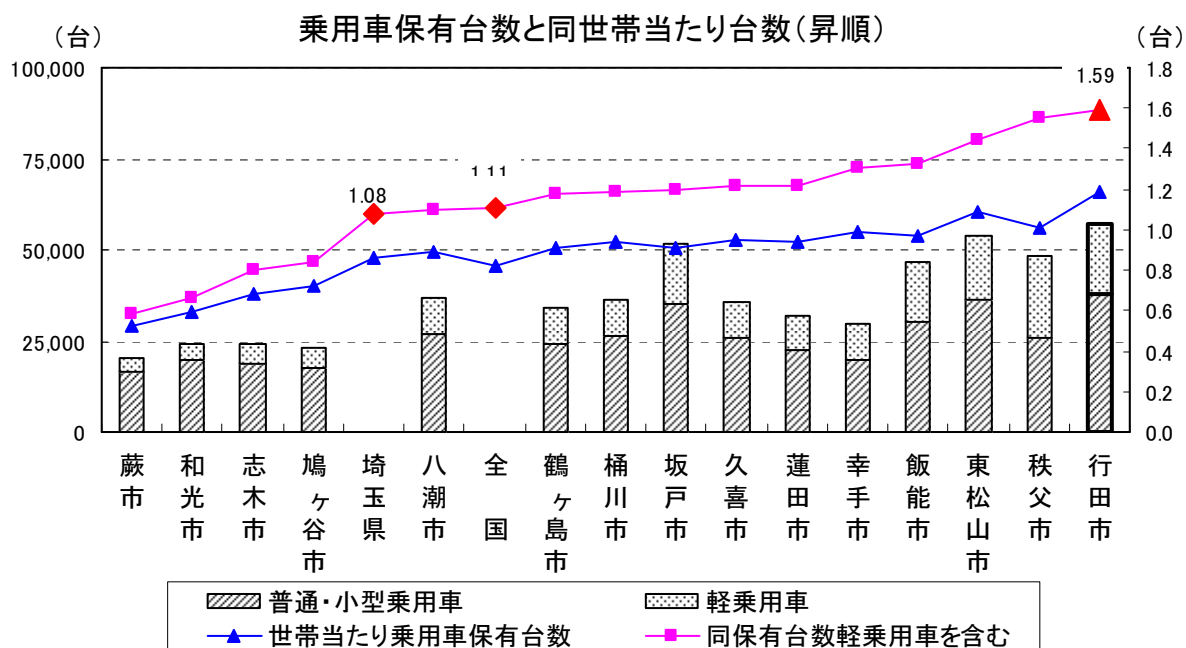
⑬ 乗用車保有台数と世帯当たり保有率

- ・平成19年行田市の一世帯当たり乗用車の保有台数は、1.59台で、1世帯1台を大きく上回っている。
- ・郊外に行くほど車に依存する傾向があり、行田市は15都市中最も高い数値である。

■平成19年 乗用車保有台数と同世帯当たり台数(同含む軽乗用車昇順)

	普通・小型乗用車		軽乗用車		世帯当たり乗用車保有台数	
	保有台数	伸び率 (19/18年)	保有台数	伸び率 (19/18年)	普通・小 型乗用車	含む軽乗 用車
蕨市	16,676	-1.6%	3,391	4.6%	0.52	0.58
和光市	19,796	0.6%	4,260	7.0%	0.59	0.66
志木市	18,855	-0.9%	5,522	5.0%	0.68	0.80
鳩ヶ谷市	17,757	-0.6%	5,136	5.5%	0.72	0.84
埼玉県(平均)	2,390,420	-1.0%	926,043	5.3%	0.86	1.08
八潮市	26,845	-0.8%	9,770	7.4%	0.89	1.10
全国(平均)	42,229,409	-1.2%	24,686,682	3.5%	0.82	1.11
鶴ヶ島市	24,286	-1.2%	9,932	4.5%	0.91	1.18
桶川市	26,409	-1.3%	10,042	6.1%	0.94	1.19
坂戸市	35,323	-1.0%	16,304	5.5%	0.91	1.20
久喜市	25,862	-0.7%	10,079	5.4%	0.95	1.22
蓮田市	22,513	-1.6%	9,600	7.3%	0.94	1.22
幸手市	20,003	-2.0%	9,777	4.8%	0.99	1.31
飯能市	30,289	1.6%	16,369	5.0%	0.97	1.33
東松山市	36,418	-1.6%	17,600	4.4%	1.09	1.44
秩父市	25,970	-1.6%	22,309	2.1%	1.01	1.55
行田市	38,121	-1.4%	18,779	4.4%	1.19	1.59
茂原市(千)	39,082	-1.9%	21,377	5.2%	1.07	1.44
あきる野市(東)	27,703	-0.9%	16,087	3.0%	0.89	1.23
綾瀬市(神)	28,766	-1.9%	11,361	3.8%	0.91	1.15
龍ヶ崎市(茨)	32,068	0.1%	14,149	7.4%	1.11	1.44

資料：市町村別自動車保有車両数



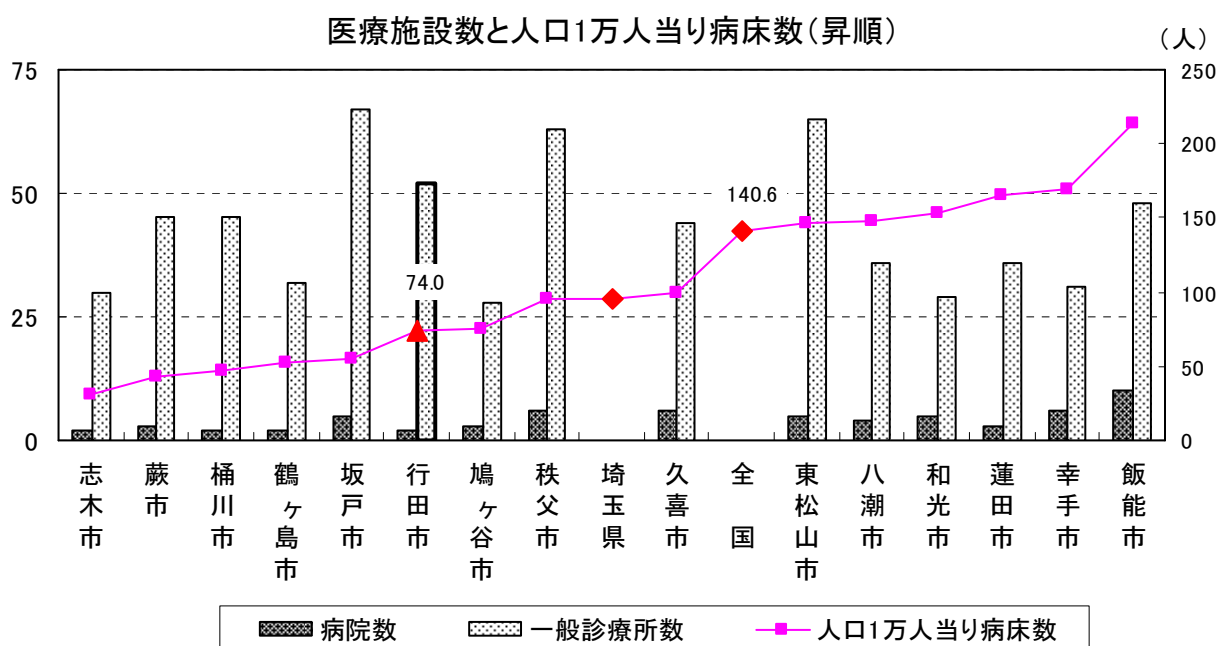
⑭ 医療施設数、病院診療所病床数、医師数

- 平成 18 年行田市の病床数は 655 床で、人口 1 万人当たり 74.0 床である。これは、15 都市中 6 番目に低い数値である。

■ 平成18年 医療施設数と病床数と医師数、
人口1万人当たり病床数(昇順)・医師1人当たり人口

	医療施設数		病院診療所病床数		医師数	
	病院数	一般診療所	病床数	人口1万人当り病床数	医師数	1人当たり人口
志 木 市	2	30	211	31.5	40	1,676
蕨 市	3	45	288	42.3	66	1,030
桶 川 市	2	45	355	47.7	96	776
鶴ヶ島市	2	32	359	52.0	68	1,015
坂 戸 市	5	67	537	54.9	104	941
行 田 市	2	52	655	74.0	88	1,006
鳩ヶ谷市	3	28	441	75.5	33	1,769
秩 父 市	6	63	677	94.9	119	600
埼玉県(平均)	359	3,865	66,765	95.1	10,016	701
久 喜 市	6	44	719	99.3	72	1,005
全 国(平均)	8,943	98,609	1,786,487	140.6	277,927	457
東 松 山 市	5	65	1,292	145.9	130	681
八 潮 市	4	36	1,110	147.2	70	1,077
和 光 市	5	29	1,120	153.9	177	411
蓮 田 市	3	36	1,058	165.5	91	702
幸 手 市	6	31	917	169.5	76	712
飯 能 市	10	48	1,786	213.7	93	899
茂原市(千)	3	46	671	71.1	95	993
あきる野市(東)	4	53	594	74.0	79	1,016
綾瀬市(神)	3	25	309	38.4	45	1,789
龍ヶ崎市(茨)	3	46	671	84.9	95	832

資料：医療施設調査



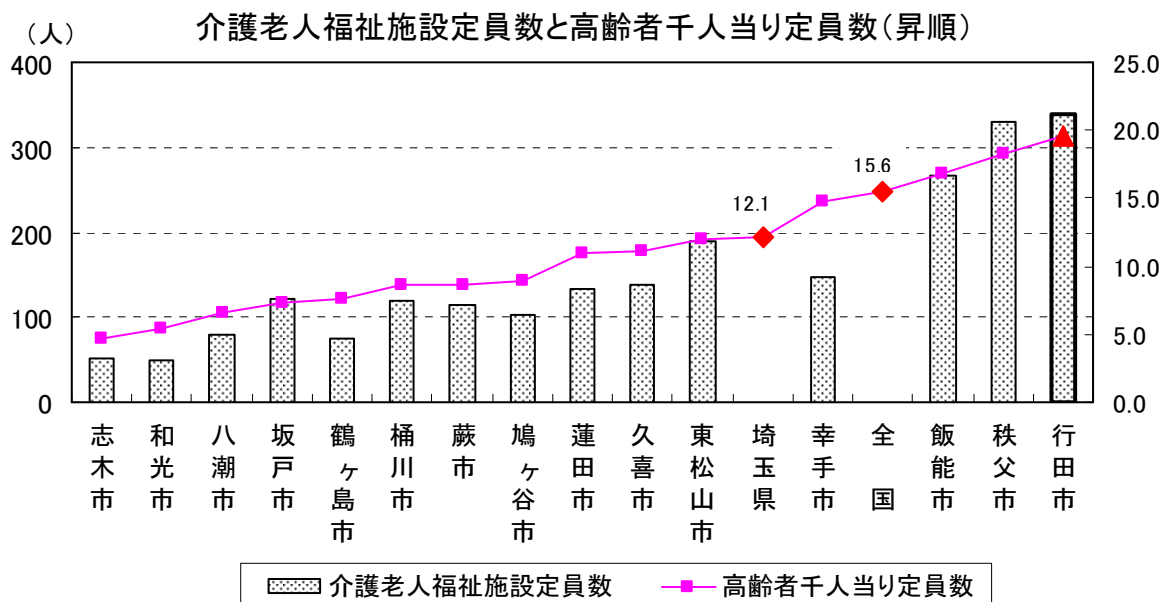
⑮ 介護老人福祉・保健施設

- 平成18年行田市の介護老人福祉施設の定員数は340人、高齢者千人当たり19.6人であり、これは15都市中最も高い数値で、施設の充実ぶりが窺える。

■ 平成18年 介護老人福祉・保健施設定員数と
介護老人福祉施設高齢者人口当り定員数(昇順)

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設	
	定員数	高齢者千人当り定員数	定員数	高齢者千人当り定員数
志木市	52	4.6	-	-
和光市	50	5.4	99	10.6
八潮市	80	6.5	150	12.2
坂戸市	121	7.4	300	18.3
鶴ヶ島市	74	7.7	107	11.1
桶川市	120	8.6	227	16.4
蕨市	114	8.7	-	-
鳩ヶ谷市	104	8.9	-	-
蓮田市	134	11.0	100	8.2
久喜市	139	11.1	57	4.5
東松山市	190	12.0	84	5.3
埼玉県(平均)	14,800	12.1	12,165	10.0
幸手市	148	14.8	92	9.2
全国(平均)	399,352	15.6	309,346	12.0
飯能市	267	16.8	178	11.2
秩父市	330	18.3	200	11.1
行田市	340	19.6	160	9.2
茂原市(千)	274	14.5	210	11.1
あきる野市(東)	1,300	82.5	151	9.6
綾瀬市(神)	144	11.4	87	6.9
龍ヶ崎市(茨)	180	14.7	200	16.4

資料:介護サービス施設・事業所誌

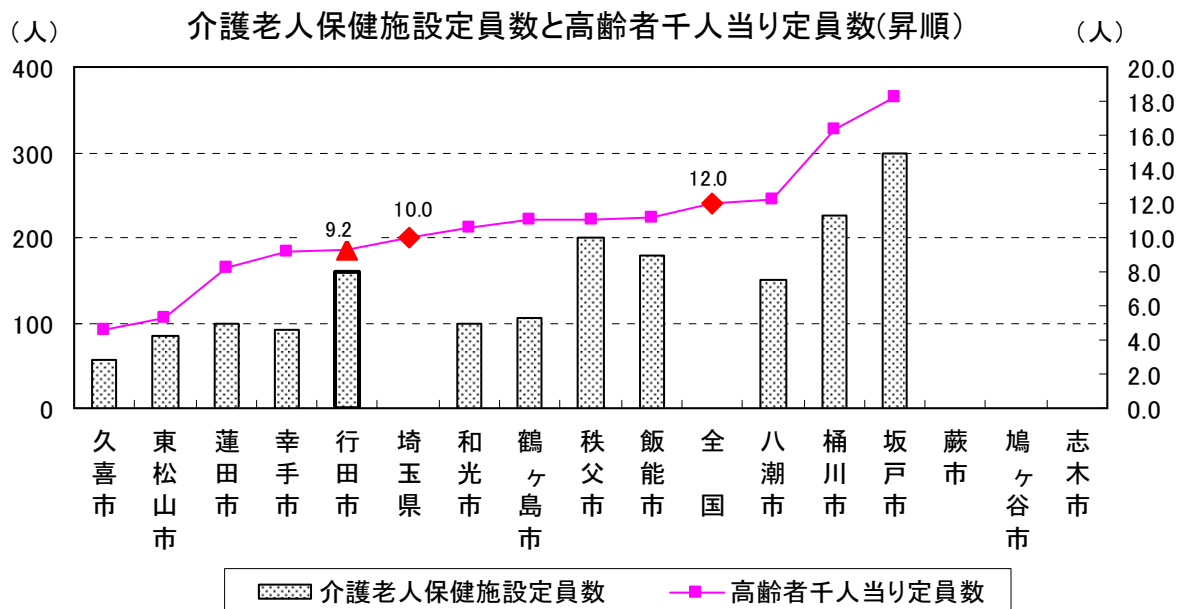


- 平成18年行田市の介護老人保健施設の定員数は160人、高齢者千人当たり9.2人であり、埼玉県平均の10.0人をやや下回る。

■ 平成18年 介護老人福祉・保健施設定員数と
介護老人保健施設高齢者人口当り定員数(昇順)

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設	
	定員数	高齢者千人当り定員数	定員数	高齢者千人当り定員数
久喜市	139	11.1	57	4.5
東松山市	190	12.0	84	5.3
蓮田市	134	11.0	100	8.2
幸手市	148	14.8	92	9.2
行田市	340	19.6	160	9.2
埼玉県(平均)	14,800	12.1	12,165	10.0
和光市	50	5.4	99	10.6
鶴ヶ島市	74	7.7	107	11.1
秩父市	330	18.3	200	11.1
飯能市	267	16.8	178	11.2
全国(平均)	399,352	15.6	309,346	12.0
八潮市	80	6.5	150	12.2
桶川市	120	8.6	227	16.4
坂戸市	121	7.4	300	18.3
蕨市	114	8.7	-	-
鳩ヶ谷市	104	8.9	-	-
志木市	52	4.6	-	-
茂原市(千)	274	14.5	210	11.1
あきる野市(東)	1,300	82.5	151	9.6
綾瀬市(神)	144	11.4	87	6.9
龍ヶ崎市(茨)	180	14.7	200	16.4

資料:介護サービス施設・事業所誌



※蕨市、鳩ヶ谷市、志木市の数値は不明。

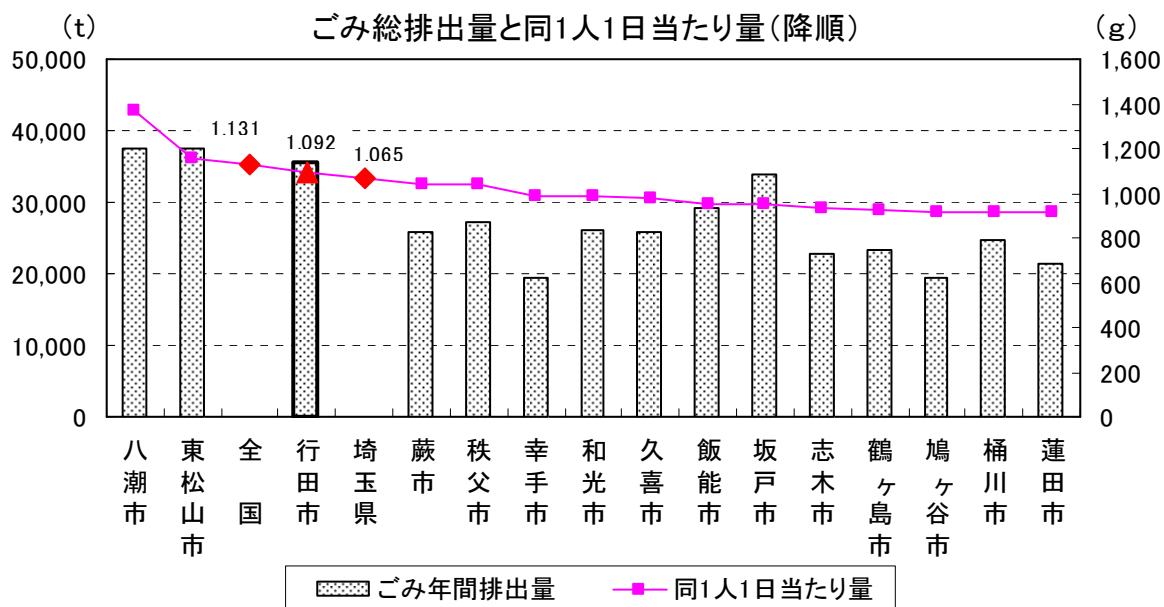
⑯ ごみ総排出量

- 平成17年行田市のごみ総排出量は35,462tで、一人1日当りに換算すると1,092gであり、埼玉県と全国平均レベルにある。

■ 平成17年 ごみ総排出量と同1日1人当たり量(降順)

	ごみ総排出量	
	年間排出量 (t)	一人一日当たり(g)
八潮市	37,368	1,373
東松山市	37,473	1,156
全国(平均)	52,727,659	1,131
行田市	35,462	1,092
埼玉県(平均)	2,727,531	1,065
蕨市	25,899	1,042
秩父市	27,231	1,040
幸手市	19,526	985
和光市	26,130	984
久喜市	25,875	977
飯能市	29,183	953
坂戸市	33,884	950
志木市	22,910	937
鶴ヶ島市	23,222	927
鳩ヶ谷市	19,375	916
桶川市	24,811	916
蓮田市	21,283	913
茂原市(千)	45,376	1,313
あきる野市(東)	28,188	964
綾瀬市(神)	28,688	961
龍ヶ崎市(茨)	31,000	1,077

資料:一般廃棄物処理実態調査



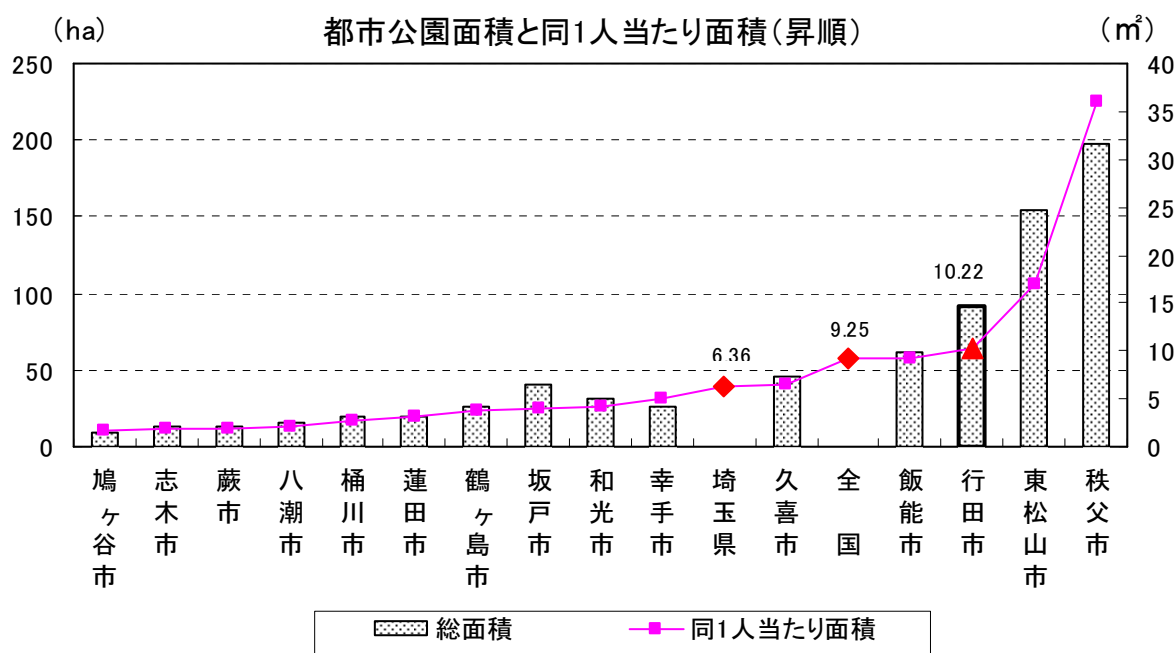
⑰ 都市公園面積

- 平成17年行田市の都市公園面積は、91.0ha、人口一人当たり面積は10.22㎡で、全国・埼玉県平均を上回り、これは15都市中、3番目に高い数値である。

■ 平成17年 都市公園面積
同1人当たり面積(昇順)

	総面積 (ha)	同1人当 たり面積 (㎡)
鳩ヶ谷市	9.5	1.61
志木市	12.9	1.89
蕨市	13.6	1.91
八潮市	15.7	1.99
桶川市	19.9	2.65
蓮田市	19.9	3.12
鶴ヶ島市	26.8	3.82
坂戸市	40.2	4.02
和光市	31.9	4.25
幸手市	26.8	4.96
埼玉県(平均)	4,481.6	6.36
久喜市	46.3	6.43
全国(平均)	109,978.8	9.25
飯能市	61.2	9.28
行田市	91.0	10.22
東松山市	154.0	16.92
秩父市	197.7	35.94
茂原市(千)	46.1	4.9
あきる野市(東)	29.7	3.67
綾瀬市(神)	34.1	4.16
龍ヶ崎市(茨)	78.2	9.89

国土交通省公園緑地課



⑱ 用途別平均地価、前年比上昇率

- 平成 19 年行田市の平均地価は、住宅地で 1 m²あたり 53,100 円、商業地が 69,600 円、工業地が 35,500 円である。いずれも県の平均地価を下回っている。
- 住宅地の地価については、15 都市中、秩父市に次いで低い。

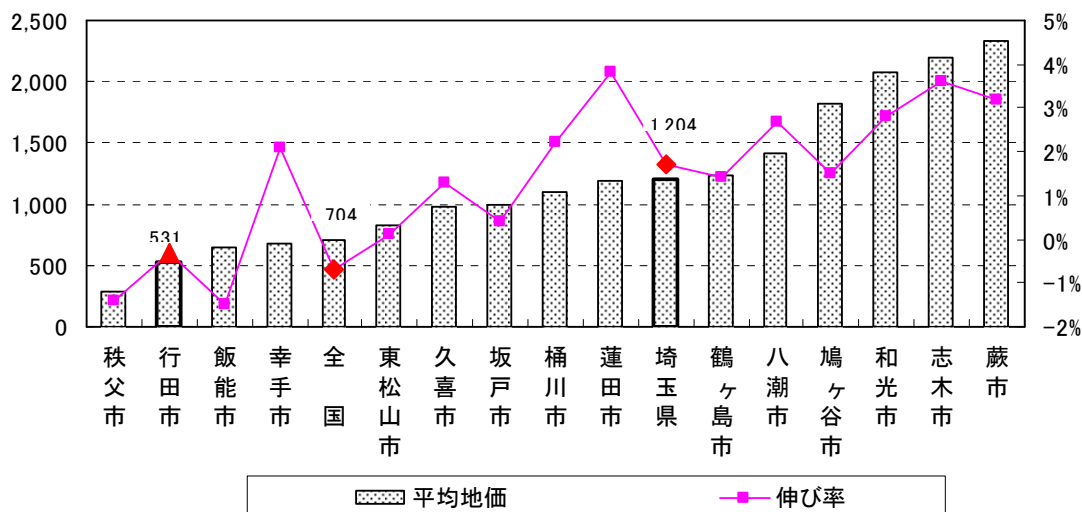
■平成19年用途別平均地価、前年比上昇率(住宅地地価昇順)

	住宅地		商業地		工業地	
	平成19年 100円/m ²	伸び率 (19/18年)	平成19年 100円/m ²	伸び率 (19/18年)	平成19年 100円/m ²	伸び率 (19/18年)
秩父市	288	-0.3%	1,010	-0.7%	166	3.5%
行田市	531	-1.4%	696	-2.5%	355	-0.6%
飯能市	653	-1.5%	2,605	0.3%	-	-
幸手市	685	0.1%	860	0.5%	-	-
全国(平均)	704	3.2%	2,938	1.0%	312	1.0%
東松山市	821	1.5%	1,435	0.0%	385	0.0%
久喜市	975	3.6%	1,300	-	-	-
坂戸市	988	2.8%	2,030	6.9%	470	0.0%
桶川市	1,102	2.2%	1,750	1.2%	-	-
蓮田市	1,188	1.3%	1,960	0.0%	-	-
埼玉県(平均)	1,204	2.7%	2,692	2.6%	564	2.6
鶴ヶ島市	1,228	3.8%	1,920	3.7%	-	-
八潮市	1,413	0.4%	1,970	2.0%	-	-
鳩ヶ谷市	1,820	2.1%	-	-	-	-
和光市	2,074	1.4%	3,720	1.1%	-	-
志木市	2,202	1.7%	-	-	-	-
蕨市	2,330	-0.7%	6,130	1.0%	-	-
茂原市(千)	286	2.3%	520	1.3%	-	-
あきる野市(東)	1,061	5.8%	1,385	4.9%	-	-
綾瀬市(神)	1,402	0.2%	1,640	0.6%	755	0.0%
龍ヶ崎市(茨)	425	-4.5%	449	-5.9%	-	-

国土交通省「都道府県地価調査」

(100円/m²)

住宅地平均地価(昇順)と同伸び率



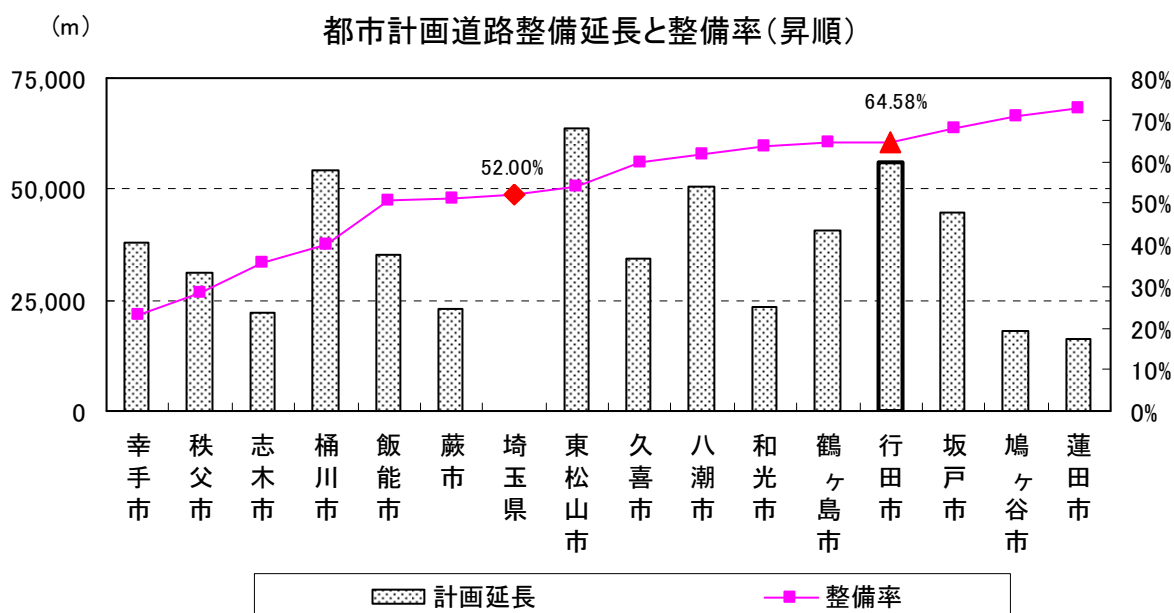
⑱ 都市計画道路計画延長と整備率

- 平成20年3月末現在の行田市の都市計画道路計画延長は56,040m、整備率は64.58%である。整備率は埼玉県平均の52.00%を上回り、15都市中4番目に高い。

■平成20年 都市計画道路
計画延長と整備率(昇順)

	計画延長 (m)	整備率
幸手市	38,030	23.35%
秩父市	31,400	28.54%
志木市	22,320	35.89%
桶川市	54,190	40.21%
飯能市	35,270	50.50%
蕨市	22,830	51.29%
埼玉県(平均)	2,850,308	52.00%
東松山市	63,690	53.95%
久喜市	34,160	59.87%
八潮市	50,390	61.72%
和光市	23,480	63.46%
鶴ヶ島市	40,500	64.42%
行田市	56,040	64.58%
坂戸市	44,690	68.11%
鳩ヶ谷市	17,990	70.93%
蓮田市	16,205	72.63%
茂原市(千)	61,200	19.37%
あきる野市(東)	38,500	19.54%
綾瀬市(神)	19,690	12.71%
龍ヶ崎市(茨)	71,340	60.65%

※平成20年3月末現在、埼玉県平均



㊦ 区画整理事業地区数・整備面積と整備率

- 平成21年4月1日現在の行田市の区画整理事業の施行済み面積は367.8haで、市街化区域面積に対する整備率は31.7%である。これは、埼玉県平均をやや下回る。

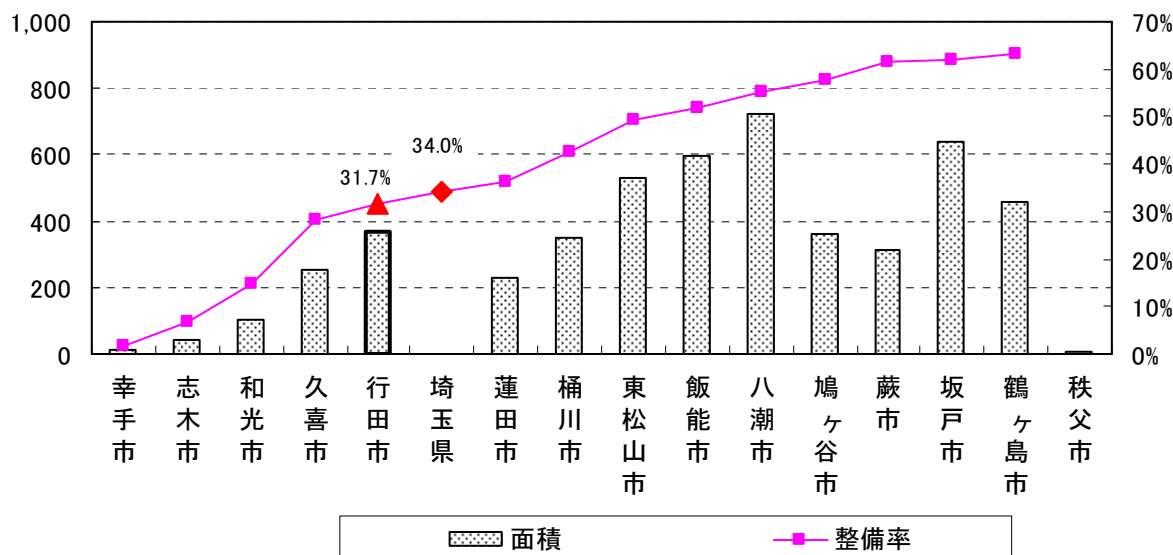
■ 平成21年 区画整理事業地区数・整備面積と整備率(昇順)

市町村名	市街化区域面積(ha)	地区数と整備面積						整備率 市街化区域面積に対する整備面積			
		施行済み合計		施行中合計		合計					
		地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)				
幸手市	524	1	(0)	9.4	0	(0)	0.0	1	(0)	9.4	1.8%
志木市	641	2	(0)	6.5	1	(0)	37.9	3	(0)	44.4	6.9%
和光市	699	3	(0)	50.1	3	(0)	51.6	6	(0)	101.7	14.5%
久喜市	887	5	(0)	250.6	0	(0)	0.0	5	(0)	250.6	28.3%
行田市	1,160	11	(0)	367.8	0	(0)	0.0	11	(0)	367.8	31.7%
埼玉県(平均)	70,988	405	(19)	16,715.3	153	(2)	7,451.2	558	(21)	24,166.5	34.0%
蓮田市	634	2	(0)	89.4	2	(0)	140.2	4	(0)	229.6	36.2%
桶川市	819	6	(0)	155.1	4	(0)	193.8	10	(0)	348.9	42.6%
東松山市	1,077	7	(0)	333.6	5	(0)	199.5	12	(0)	533.1	49.5%
飯能市	1,145	5	(0)	183.6	6	(0)	411.5	11	(0)	595.1	52.0%
八潮市	1,308	4	(1)	301.0	7	(0)	418.9	11	(1)	719.9	55.0%
鳩ヶ谷市	622	4	(0)	278.9	1	(0)	80.7	5	(0)	359.6	57.8%
蕨市	510	8	(1)	221.6	2	(0)	91.6	10	(1)	313.2	61.4%
坂戸市	1,035	8	(2)	477.4	4	(0)	163.4	12	(2)	640.8	61.9%
鶴ヶ島市	721	6	(3)	395.1	2	(0)	61.1	8	(3)	456.2	63.3%
秩父市	-	1	(0)	7.7	0	(0)	0.0	1	(0)	7.7	-
茂原市(千)	1,458	14		168.6	3		53.9	17		222.5	15.3%
あきる野市(東)	1,150	7		167.2	0		0.0	7		167.2	14.5%
綾瀬市(神)	1,028	4		52.2	1		58.6	5		110.8	10.8%
龍ヶ崎市(茨)	1,366	15		804.4	0		0.0	15		804.4	58.9%

※1 ()は市町村ごと地区数のうち、複数市町村にまたがって施行している地区数。

※2 県内市街化区域面積、施行面積は平成21年4月1日現在、県外都市は平成20年4月1日現在

(ha) 区画整理事業整備面積と整備率(昇順)



2-3. 類似都市指標のまとめ

① 人口伸び率

- ・平成15年から平成20年の行田市の人口伸び率は-2.4%と減少しており、少子高齢化が進む中で、積極的な社会増施策がないかぎり人口減少が進むことが予想される。

② 年齢別人口構成比

- ・高齢者人口の割合は18.6%で、全国平均より低いものの、埼玉県平均を上回り、今後、団塊世代が65歳を迎えるとともに高齢化が一段と進むことが予想される。
- ・また、年少人口は13.6%で、全国平均と埼玉県平均を下回り、今後、年少人口が更に減少することが予想される。

③ 人口動態

- ・平成19年度の自然増人口はマイナス107人、社会増人口はマイナス619人であり、年間726人の減少となっている。転入者の人口に対する割合も2.6%と低くなっており、人口の減少傾向が続くと予想される。

④ 昼夜間人口

- ・昼夜間人口比率は87.8%と、埼玉県の平均レベル(87.3%)である。今後、さらに市民の定住化と高齢化が進むことが考えられ、職住接近を目指した地元での就業機会が増えることが期待される。

⑤ 産業別就業人口

- ・平成17年国勢調査によれば、産業別就業人口の第3次産業の比率が61.4%で、県平均を下回る。一方で、第2次産業の比率は高く、地元での就業機会となっている。

⑥ 事業所数、事業所従業員数

- ・事業所従業員の人口に対する割合は40.0%で、抽出都市の中で5番目に高く、県下に通勤住宅都市が多い中で、地元就業機会が比較的高い都市であるといえ、今後、地域の事業所の活性化が期待される。

⑦ 市役所職員数

- ・平成19年の人口千人当たり地方公務員の数、抽出都市の中で5番目に低い。今後、きめ細かな住民サービスに影響がないよう、効率的な体制づくりと職員の質の向上が求められる。

⑧ 市財政支出額・財政力指数

- ・市の財政支出額は、人口1人に換算して抽出都市の中で5番目に高く、財政のスリム化が必要となる。また、需要量と歳入とのバランスから試算される財政力指数は0.73と秩父市の次に低く、財政の健全化が課題となる。

⑨ 製造品出荷額

- ・平成18年の製造品出荷額は平成17年から12.3%の増加があり、最も高い伸び率である。事業所、従業者数も増加しており、今後とも地元企業の活性化が期待される。

⑩ 小売業年間販売額、小売吸引力、大型店シェア

- ・平成19年の小売業は、多くの都市が減少傾向にある中で、平成16年から事業所数、従業者数、年間販売額ともに増加している。引き続き地元事業所の活性化を期待したい。
- ・行田市の小売吸引力は78.9%と低く、市内購買力の約2割が地区外流出しており、これは昼夜間人口比率(87.8%)を約8.9ポイント下回り、地元購買機会の促進が課題となる。
- ・市内大型店の売場面積のシェアは57.0%で、商業活動が大型店中心になっている中で、地元商店を含む大型店以外の商店(1,000㎡未満)が比較的多いことが窺える。今後、高齢者や障がい者等の交通弱者が増えることも想定し、地元商店の活性化が課題となる。

⑪ 所得水準

- ・課税対象所得から試算される平成18年の所得水準は95.9ポイントで、埼玉県の平均が104.8ポイントと高い中で全国平均を下回る状況にある。

⑫ 新築住宅着工戸数、一戸建て住宅・共同住宅戸数、持家住宅戸数

- ・平成18年度の新築住宅着工戸数は598戸で、そのうち持家住宅の比率が60.0%と半分以上を占める。住宅業者の建てる分譲住宅の比率は20.9%と低く、住宅市場としてのニーズは低い。
- ・住宅の中で共同住宅の比率は僅か17.0%に過ぎず、一戸建て中心である。また、持家世帯の割合は統計にないが、高いことが予想される。今後も、一戸建て住宅が中心であると考えられるが、駅の徒歩圏内には、交通弱者や共同住宅を好む市民も想定され、共同住宅の需要も期待される。

⑬ 下水道普及率

- ・下水道の普及率は51.2%であり、今後とも、普及率の向上が課題となる。

⑭ 乗用車保有台数

- 乗用車の一世帯当たり保有台数は、都心を離れるほど車に依存する傾向があり、軽乗用車を含めて 1.59 台で、比較対象都市の中でも最も高い。一方で、普通・小型乗用車の保有台数は減少しており、軽自動車にシフトする傾向が窺える。今後、交通弱者が増えるのに伴い、代替え手段の対応が課題となる。

⑮ 医療施設、介護老人福祉・保健施設

- 人口 1 万人当たり病院診療所病床数は 74.0 床であり、県平均を下回る数値である。今後、高齢者の増加に伴い、医療施設の対応が課題となってくる。
- 平成 18 年の高齢者千人当たり介護老人福祉施設の定員数は 19.6 人であり、これは 15 都市中最も高い数値で、施設が充実している。
- 同様に、高齢者千人当たり介護老人保健施設の定員数は 9.2 人であり、埼玉県平均の 10.0 人をやや下回る。
- 今後、高齢社会から超高齢社会に移行していく中、これらの施設をいかに拡充、サービスの向上を図るかが課題である。

⑯ ごみ総排出量

- ごみ総排出量は、1 日 1 人当たり数値はほぼ、県レベル、全国レベルにある。今後、CO₂削減が大きな社会問題となる中、ごみの排出量をさらに削減することが課題となる。

⑰ 都市公園面積

- 平成 17 年行田市の都市公園面積は、91.0ha、人口一人当たり面積は 10.22 m²で、全国・埼玉県平均を上回り、15 都市中、3 番目に高い数値である。

⑱ 用途別平均地価、前年比上昇率

- 平成 19 年行田市の平均地価は、住宅地が 1 m²あたり 53,100 円で、15 都市中、秩父市に次いで低く、郊外都市になるほど地価が安くなっている。
- 個別の地価については、立地条件のほか、インフラ整備状況や住宅需要など様々な要因で決定され、固定資産税等の税収との関係もあり、的確な評価で上昇することが望ましい。

⑲ 都市計画道路計画整備率、区画整理事業整備率

- 平成 20 年 3 月末現在の行田市の都市計画道路の整備率は 64.58%で、埼玉県平均の 52.00%を上回り高く、今後とも整備が期待される。
- 一方、平成 21 年 4 月 1 日現在の行田市の区画整理事業の整備率は 31.7%で、市街化区域の約 3 分の 1 が、区画整理事業で整備されており、整備率はほぼ県平

均となっている。既に 11 箇所の事業が完了しており、これは 15 都市の中で最も多く、施工中の事業がないのが特徴である。